

秋田県沖合域の水温状況 (平成25年4月)

漁業調査指導船「千秋丸」により4月2～3日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層(2ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」水温です。
- 50m層(3ページ) にかほ市沖(St. 8)に、冷水域がみられます。
- 100m層(4ページ) 男鹿半島沖(St. 4)～にかほ市沖(St. 8)にかけて、冷水の差し込みがみられます。
- 200m層(5ページ) 男鹿半島沖(St. 2～4)～にかほ市沖(St. 8)にかけて、冷水の差し込みがみられます。

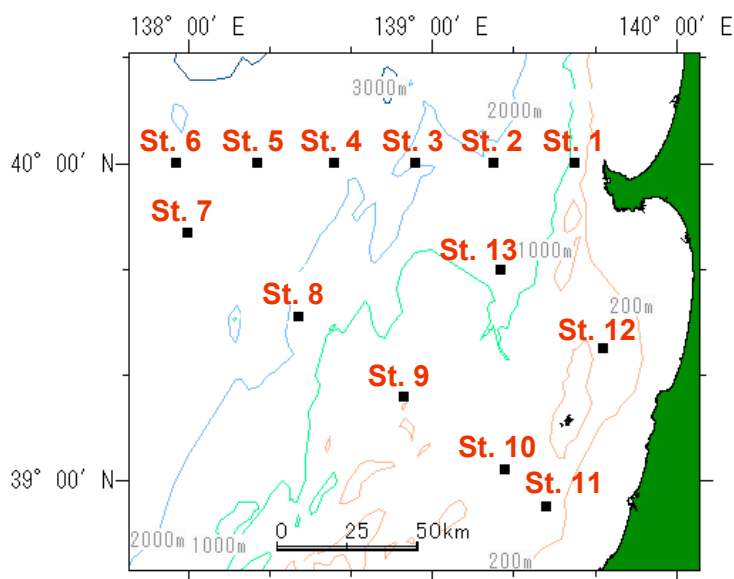


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

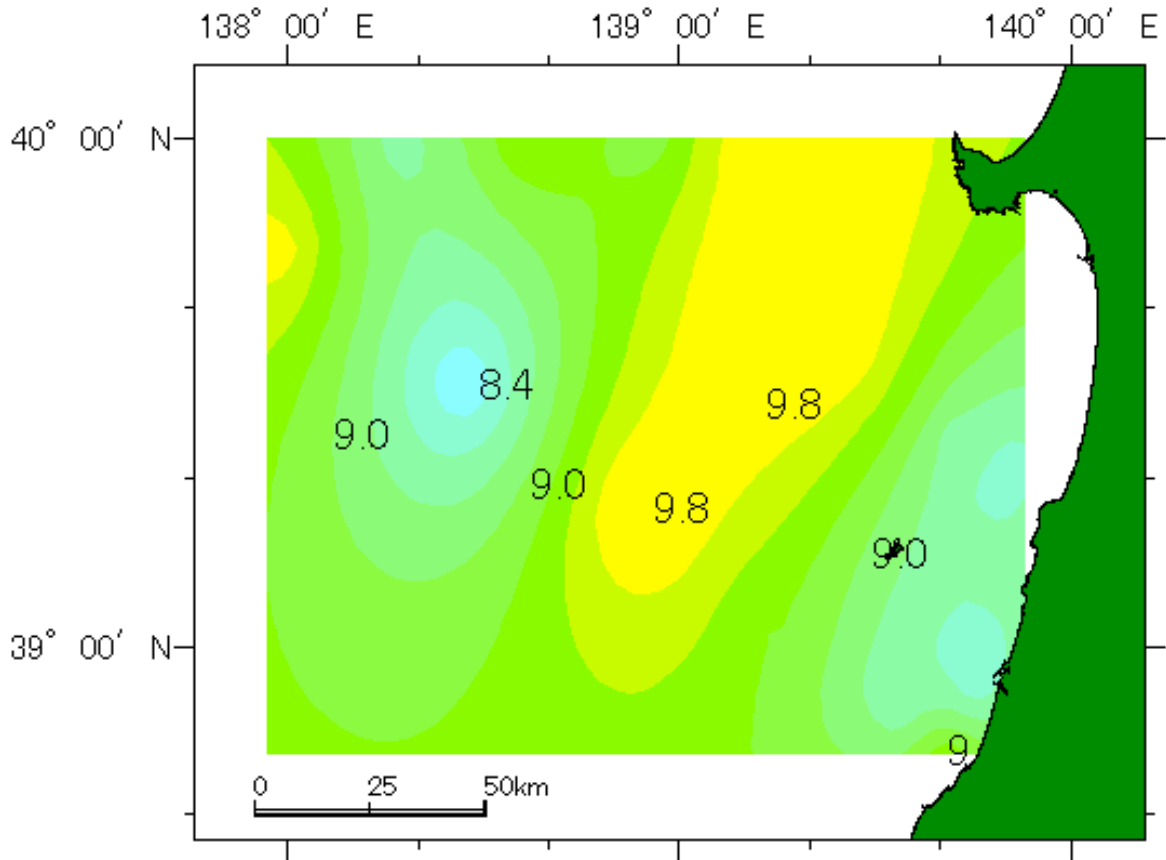


図2 表層の水温分布

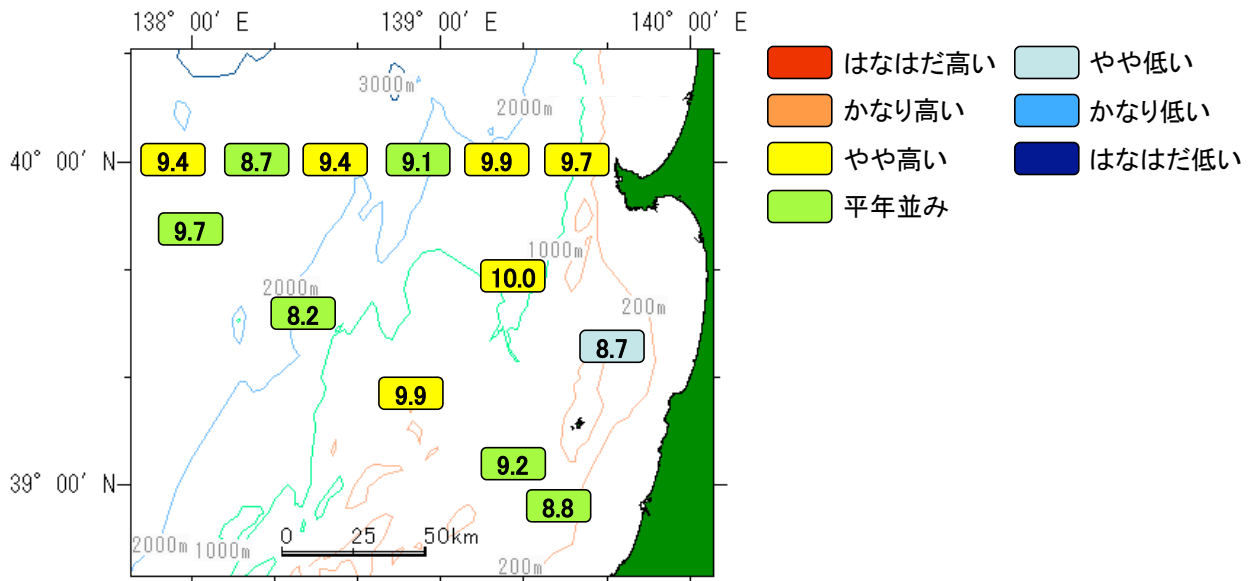


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

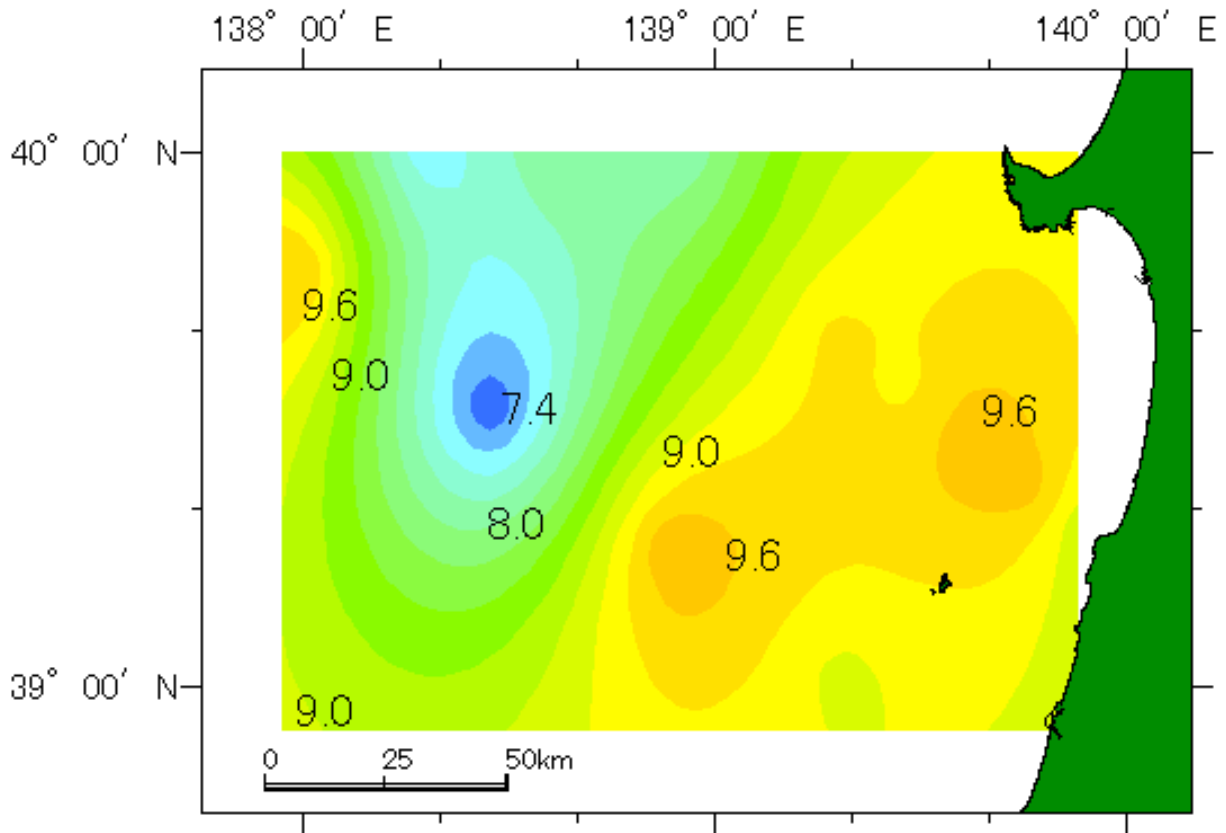


図4 水深50m層の水温分布

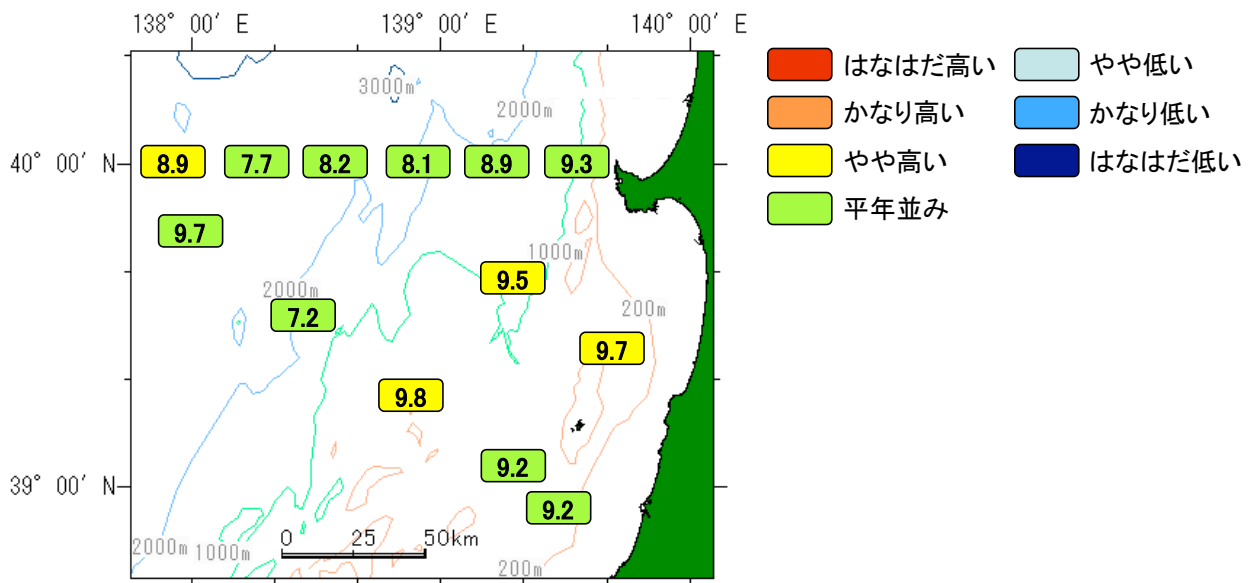


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

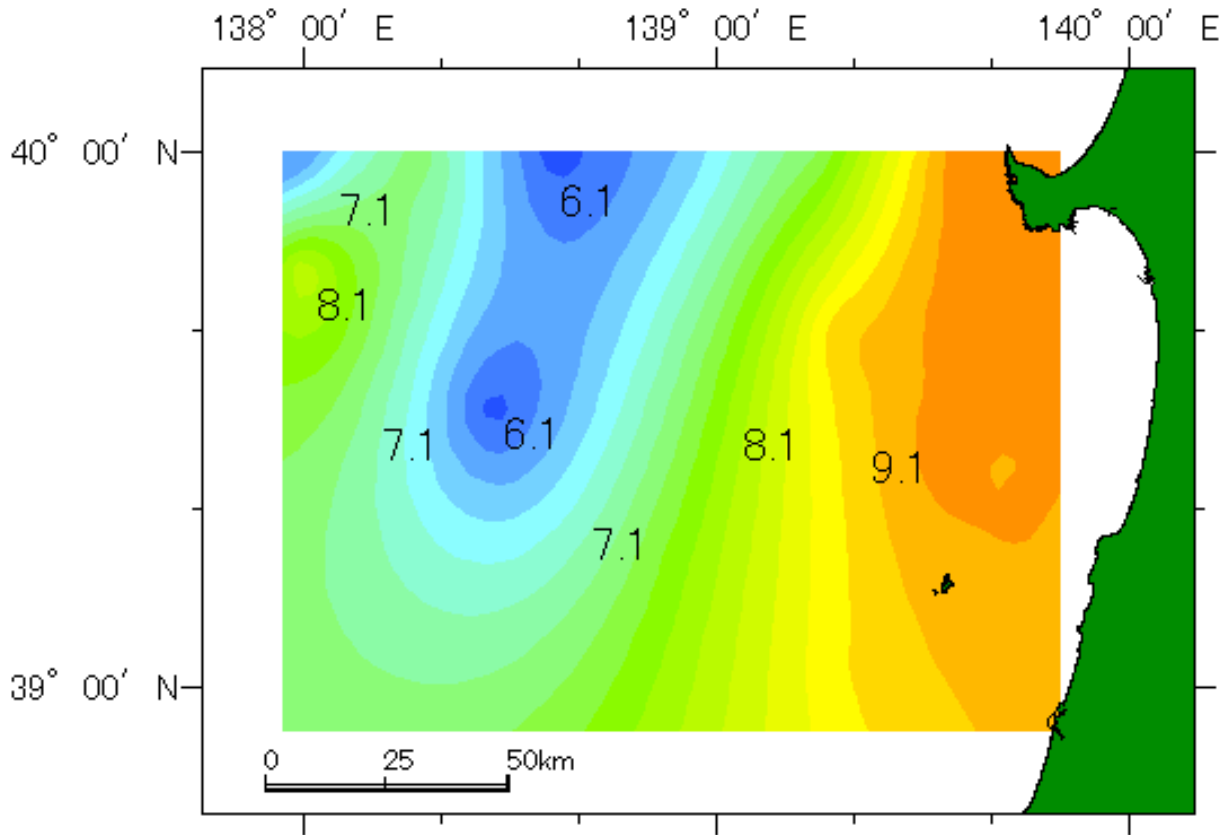


図6 水深100m層の水温分布

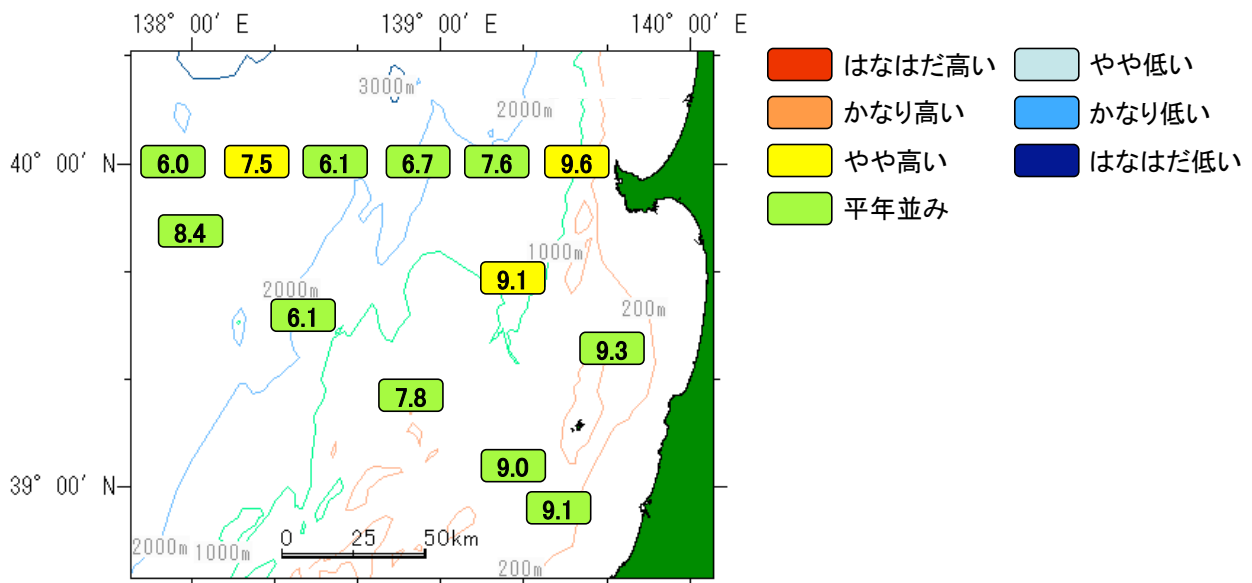


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

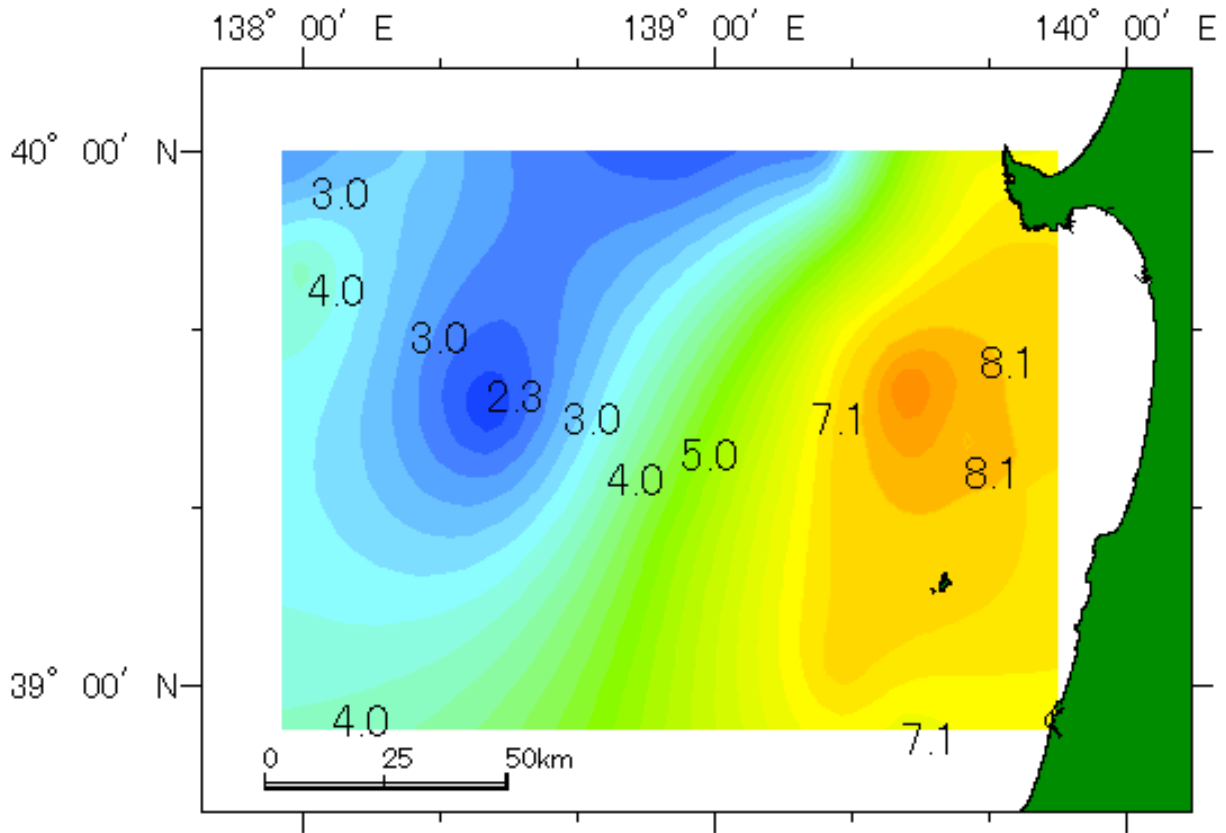


図8 水深200m層の水温分布

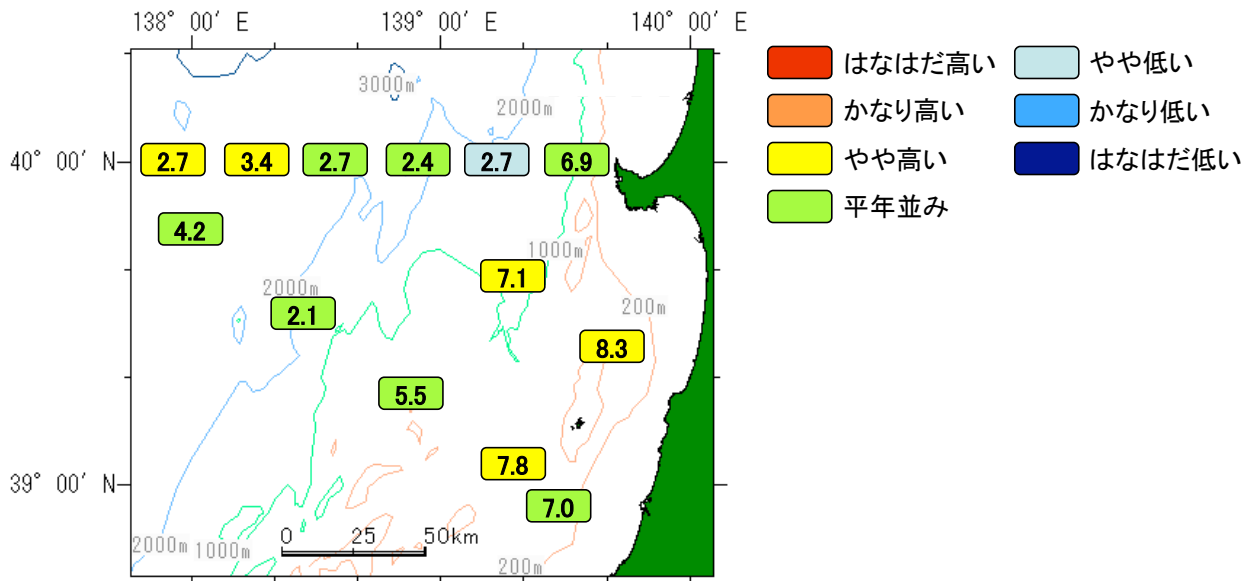


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成25年9月)

漁業調査指導船「千秋丸」により9月3～4日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層(2ページ) 秋田市沖(St. 13)～にかほ市沖(St. 12)にかけて、「かなり高い」水温です。
- 50m層(3ページ) 男鹿半島西沖(St. 3、4)～にかほ市沖(St. 8)にかけて、「かなり低い」水温です。
- 100m層(4ページ) 男鹿半島西沖(St. 3)～にかほ市沖(St. 8)にかけて、「かなり低い」水温です。
- 200m層(5ページ) おおむね「平年並み」～「やや高い」水温です。

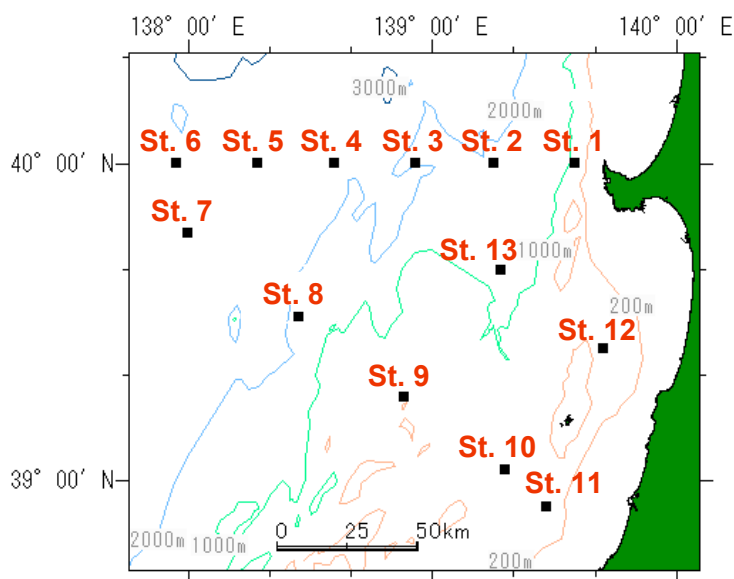


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)÷標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

< 表層 >

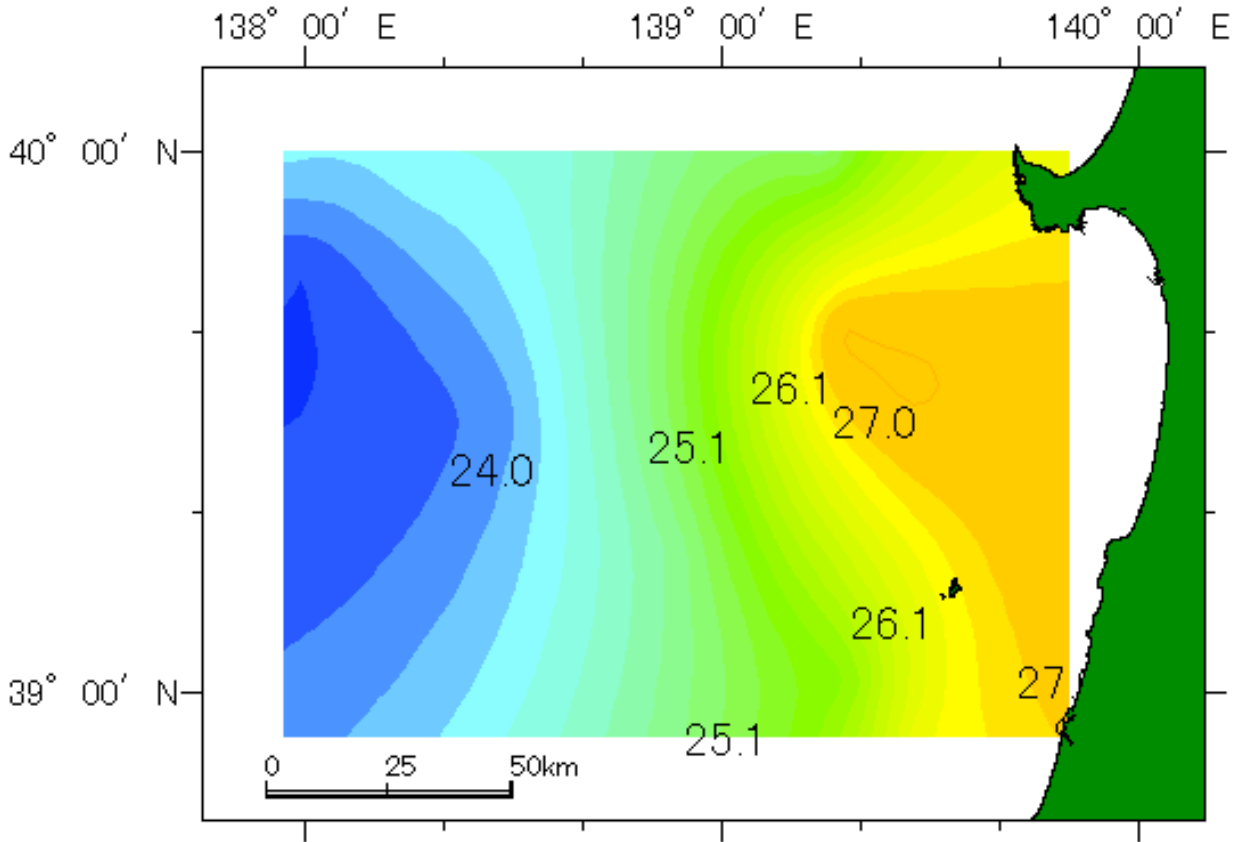


図2 表層の水温分布

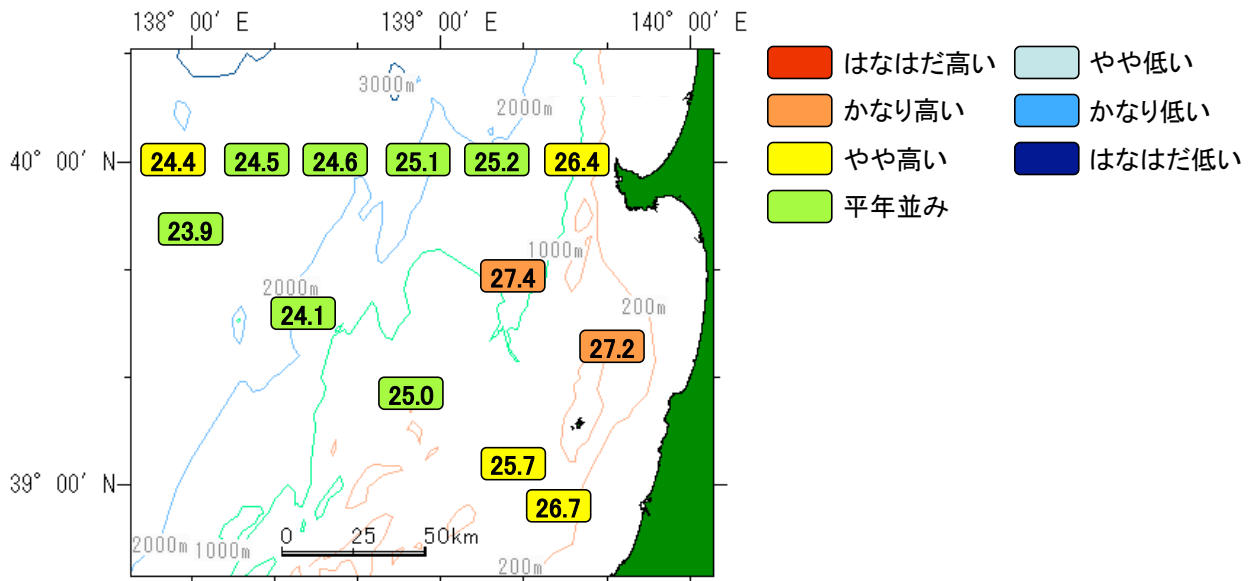


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

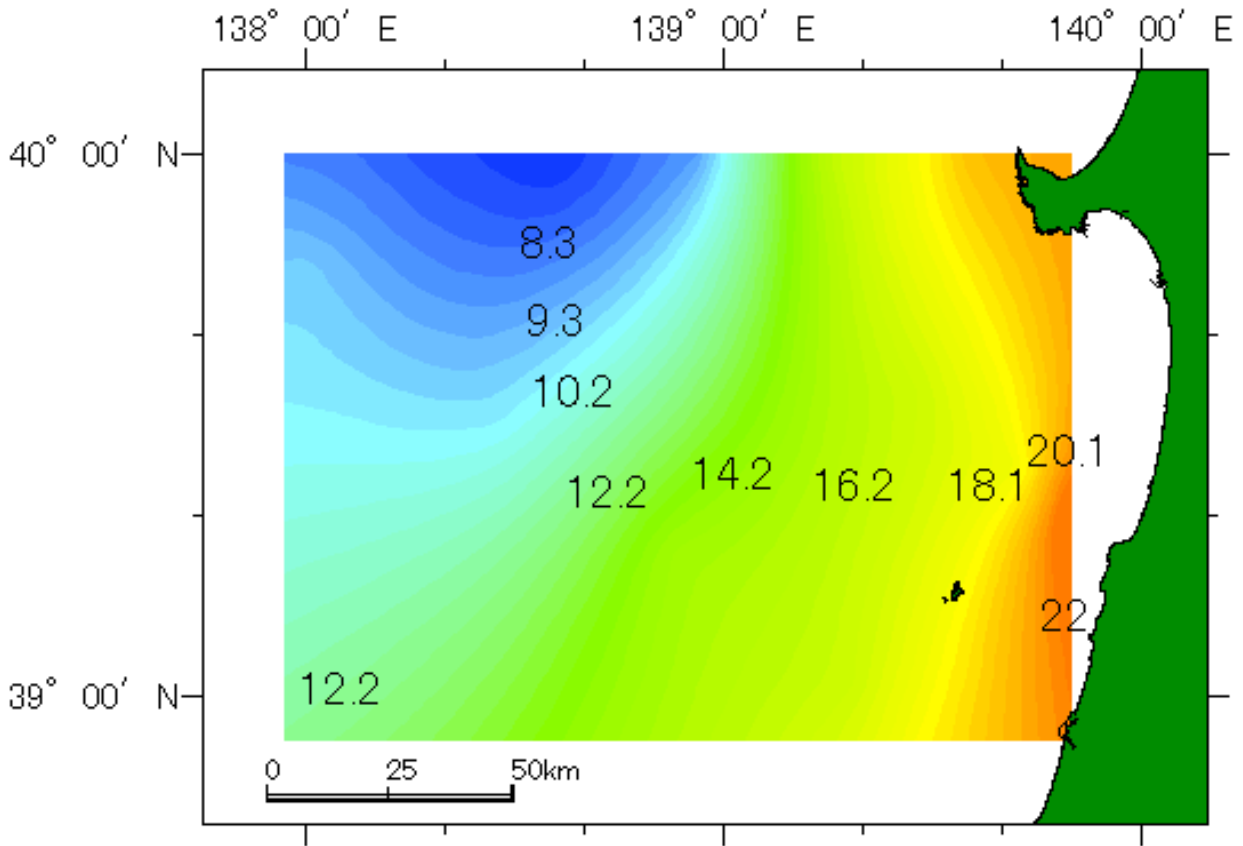


図4 水深50m層の水温分布

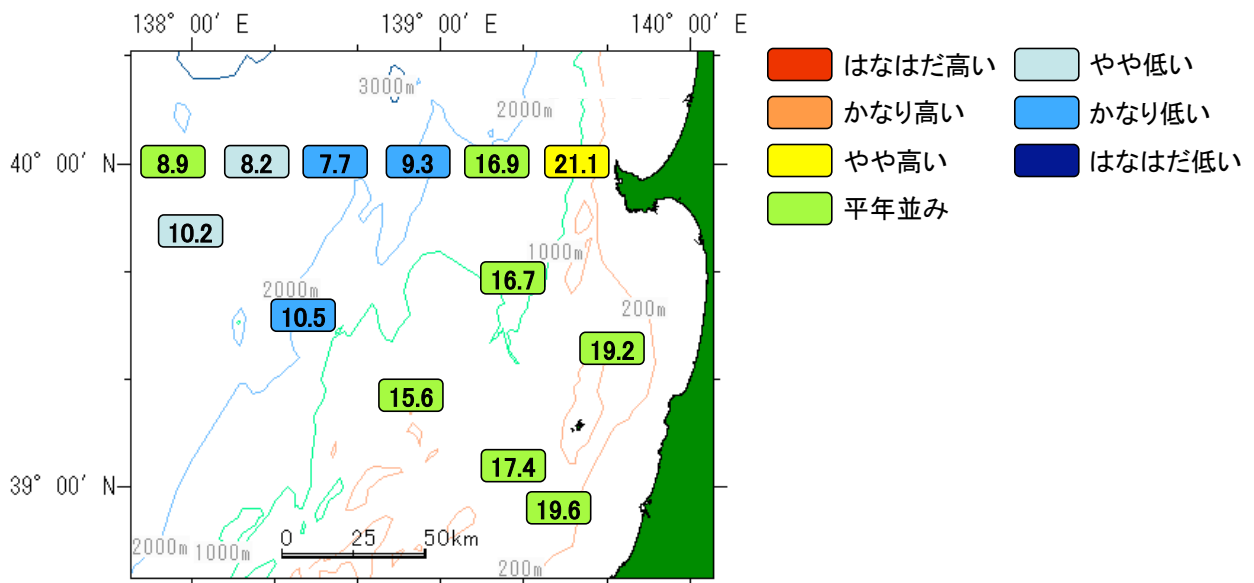


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

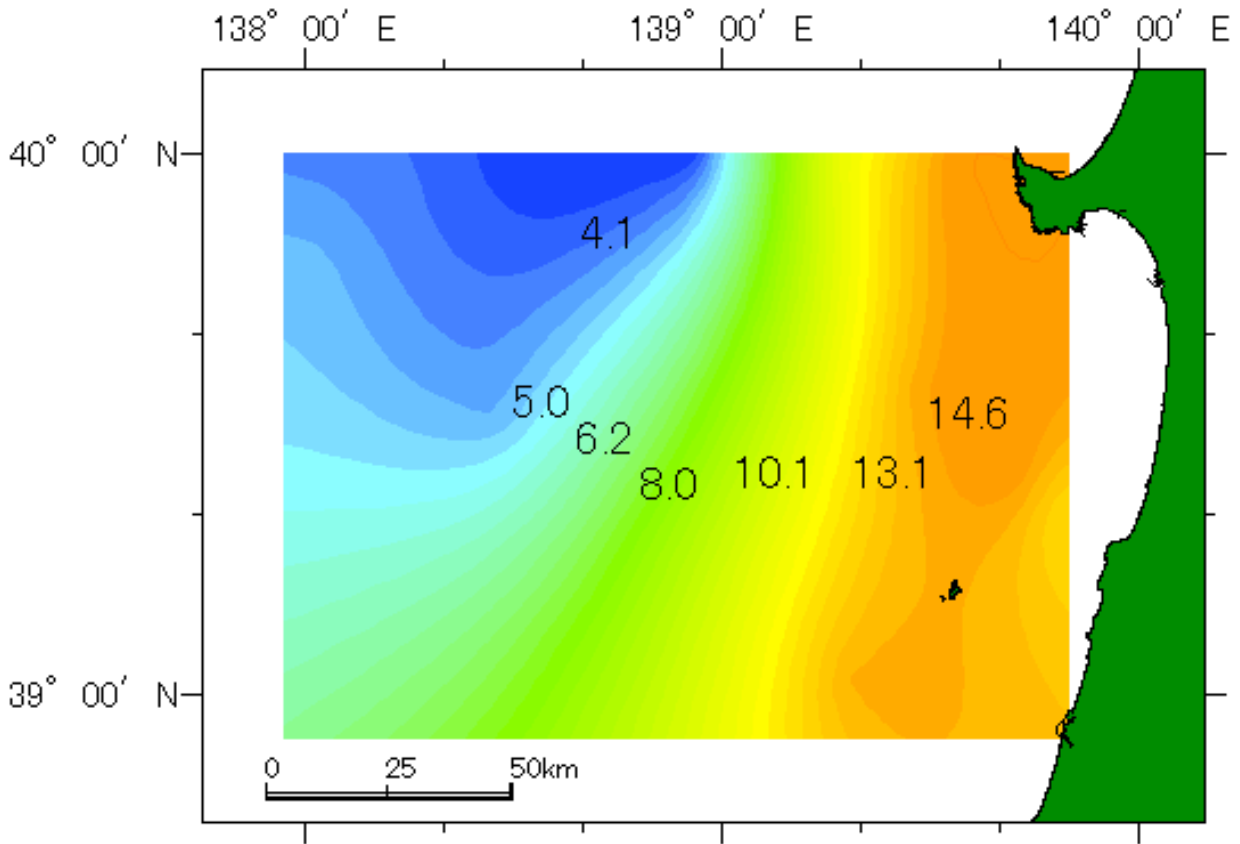


図6 水深100m層の水温分布

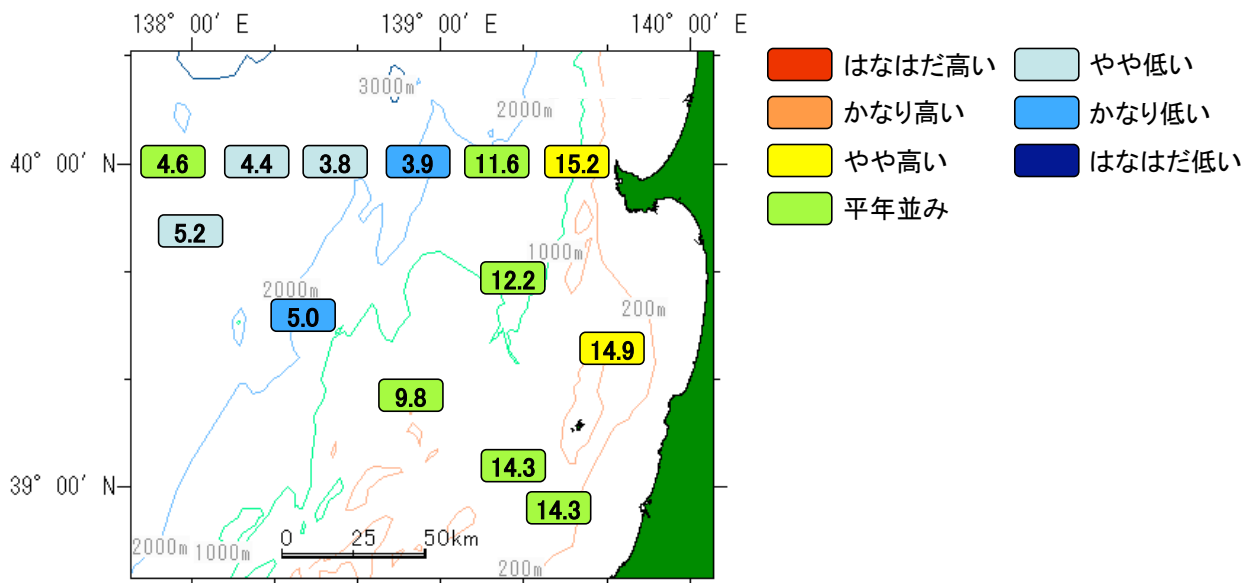


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

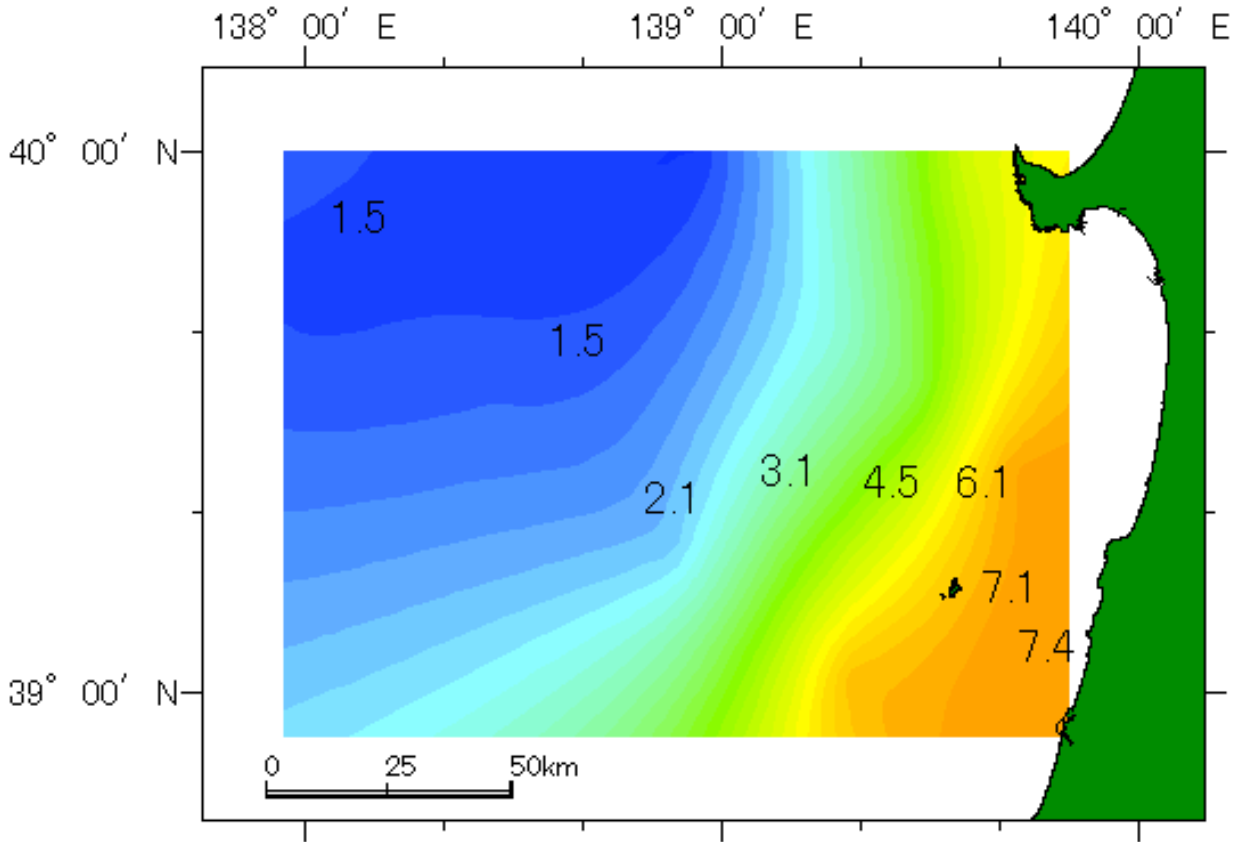


図8 水深200m層の水温分布

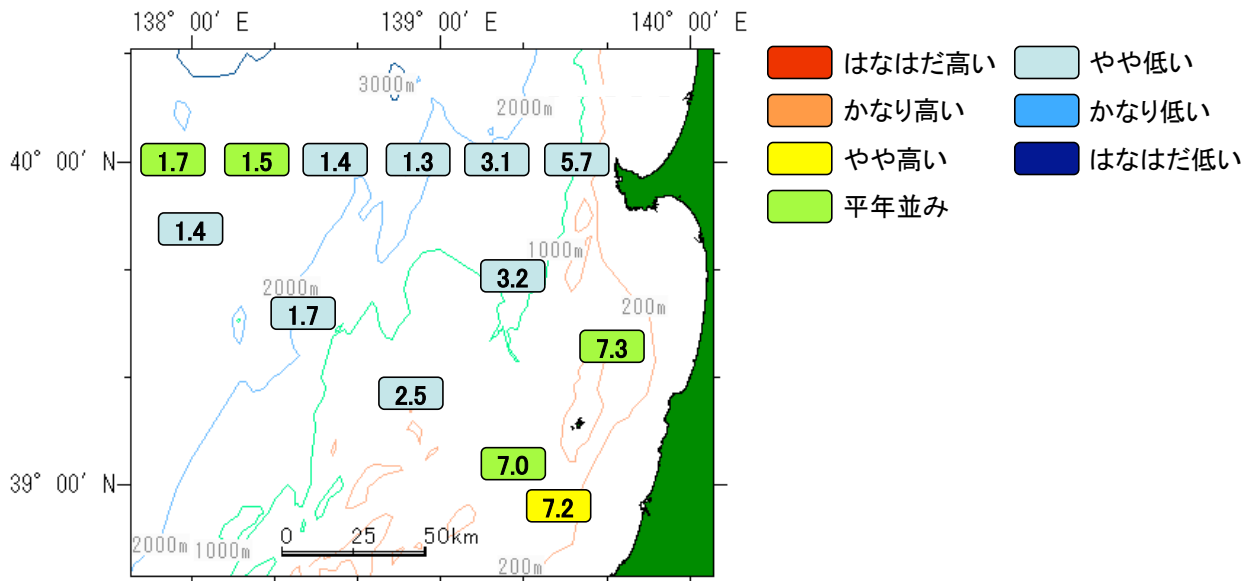


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成25年10月)

漁業調査指導船「千秋丸」により9月30～10月1日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層(2ページ) 男鹿半島南西沖(St. 9、13)で、「はなはだ高い」水温です。
- 50m層(3ページ) 男鹿半島西沖(St. 3～5)に、「はなはだ低い」水温の冷水域がみられます。
- 100m層(4ページ) 男鹿半島西沖(St. 3～5)に、「かなり低い」～「はなはだ低い」水温の冷水域がみられます。
- 200m層(5ページ) にかほ市沖のSt. 9付近に暖水域があり、これに隣接した酒田市沖のSt. 10では「はなはだ高い」水温です。
- 300m層(6ページ) にかほ市沖(St. 12)で、「はなはだ高い」水温です。

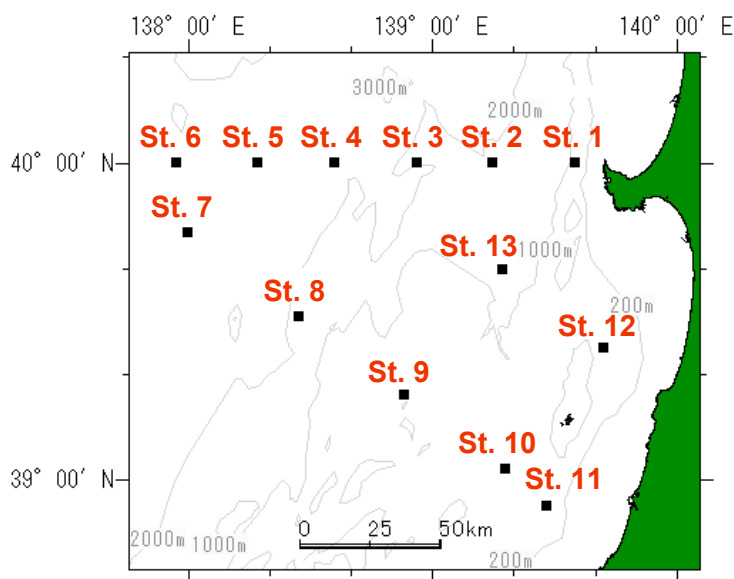


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)÷標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

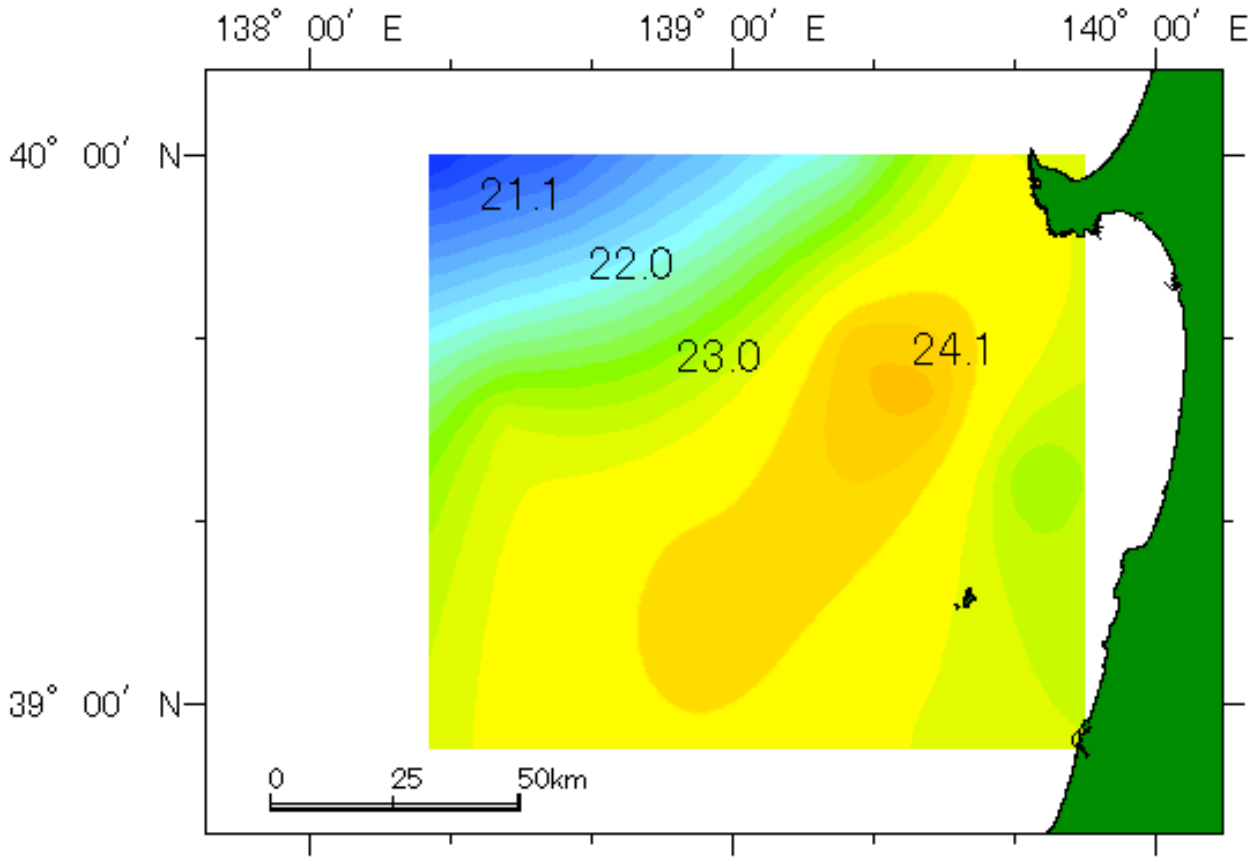


図2 表層の水温分布

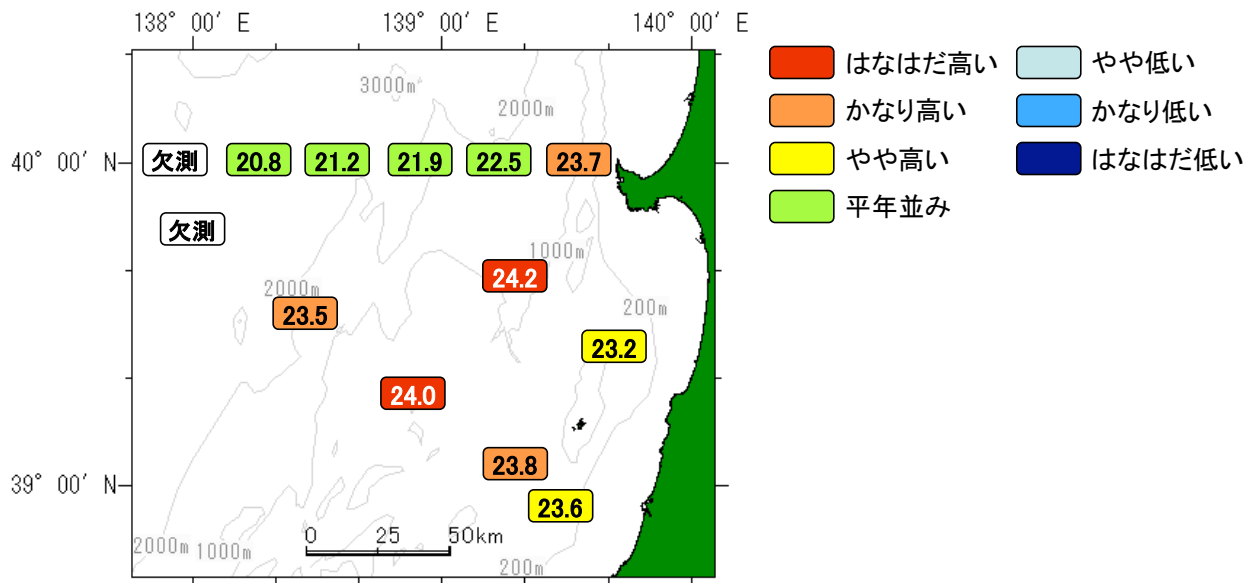


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

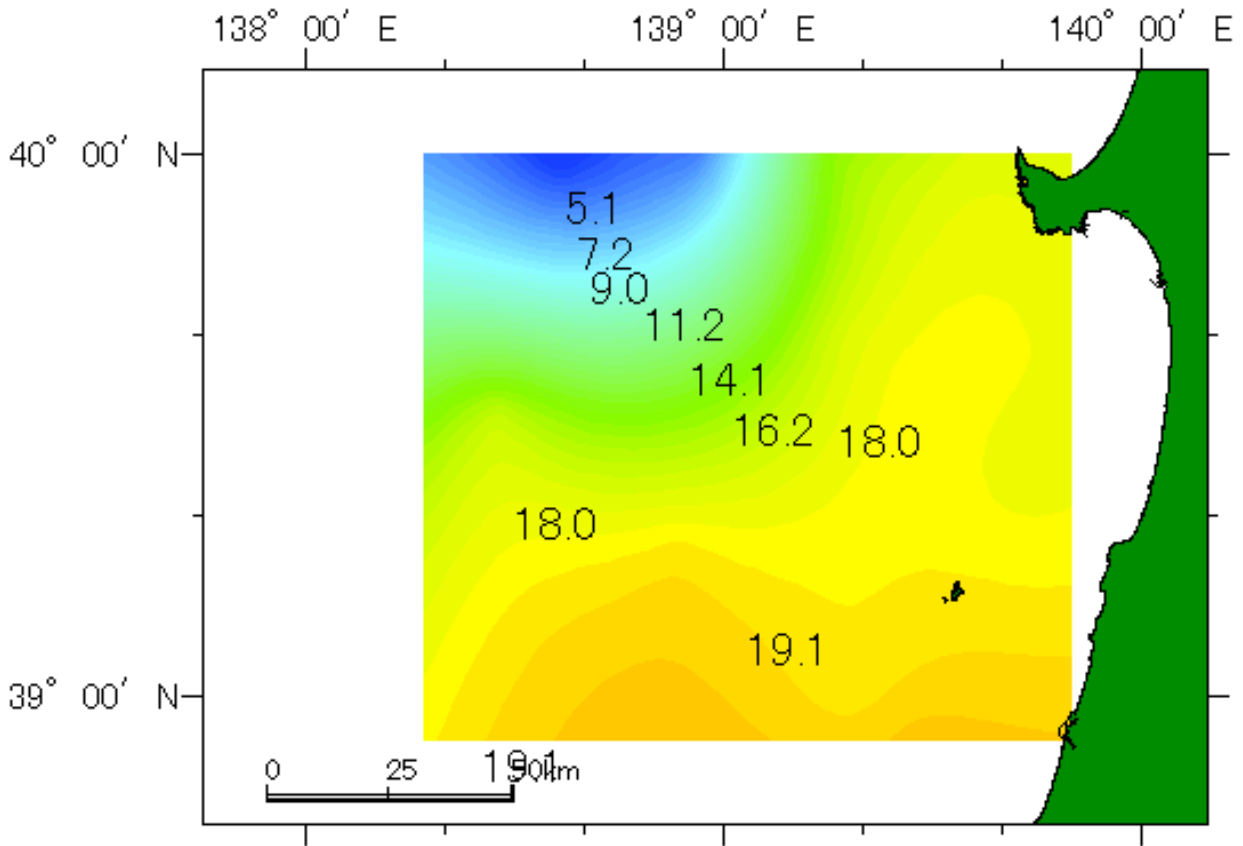


図4 水深50m層の水温分布

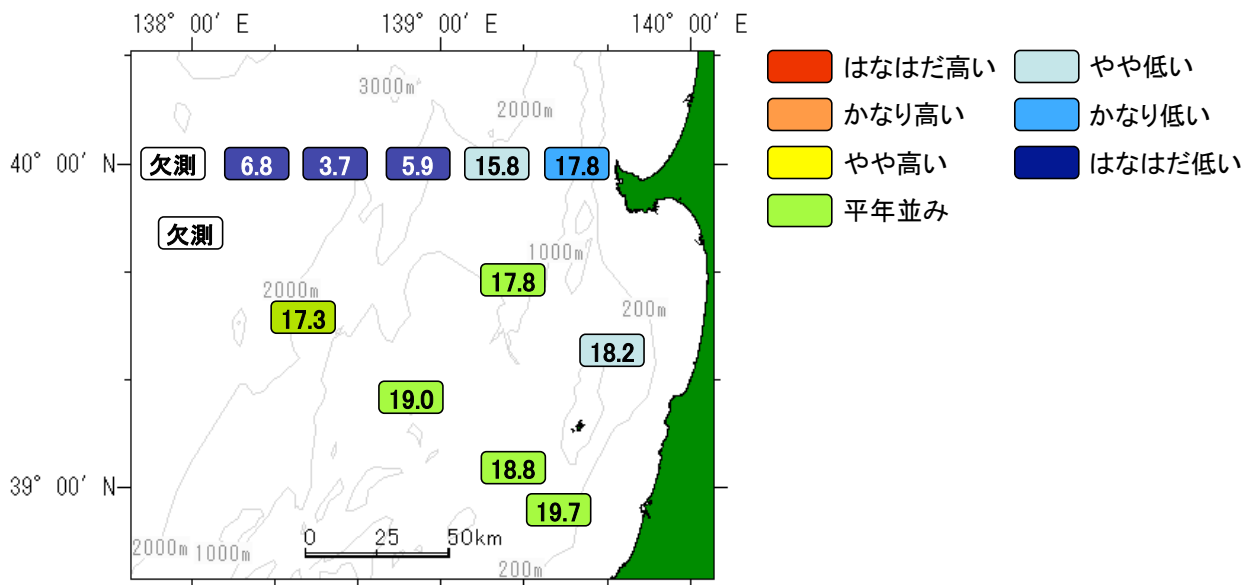


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

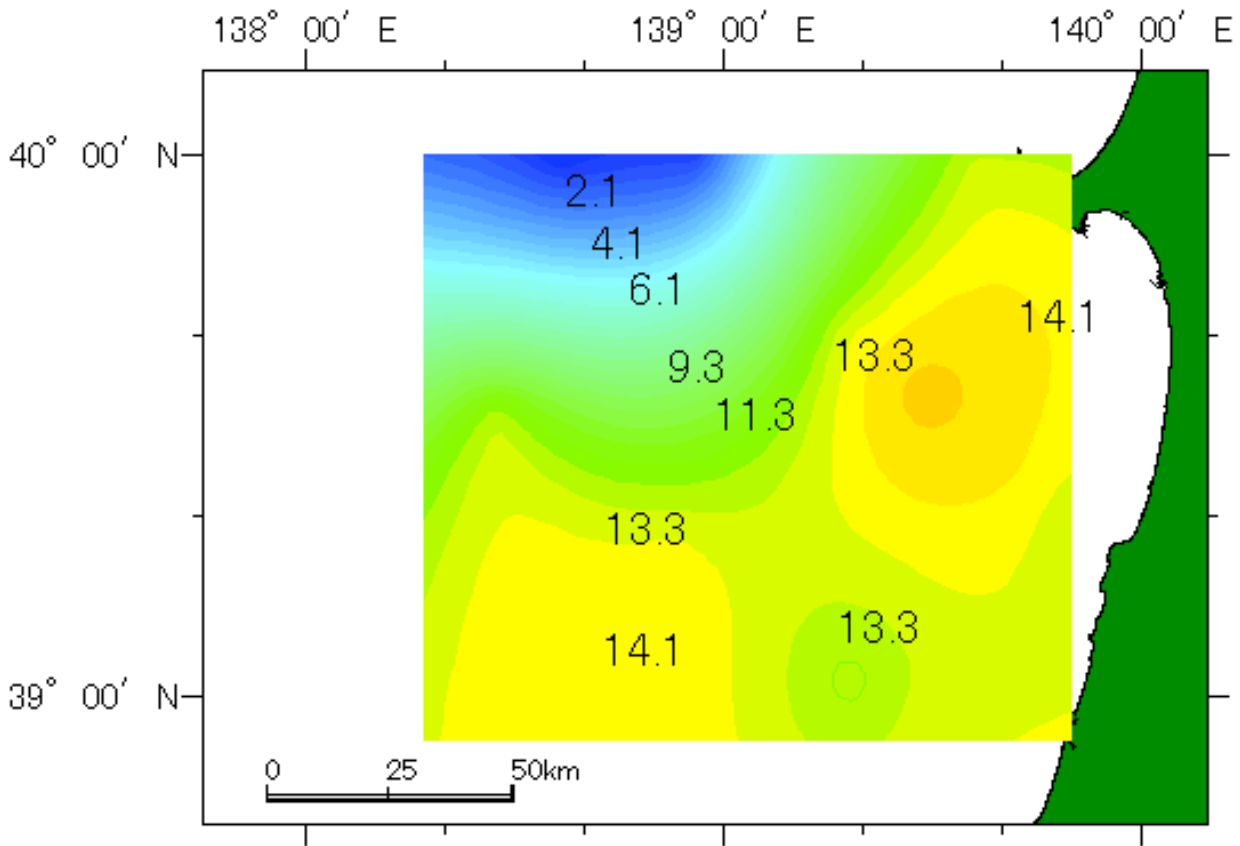


図6 水深100m層の水温分布

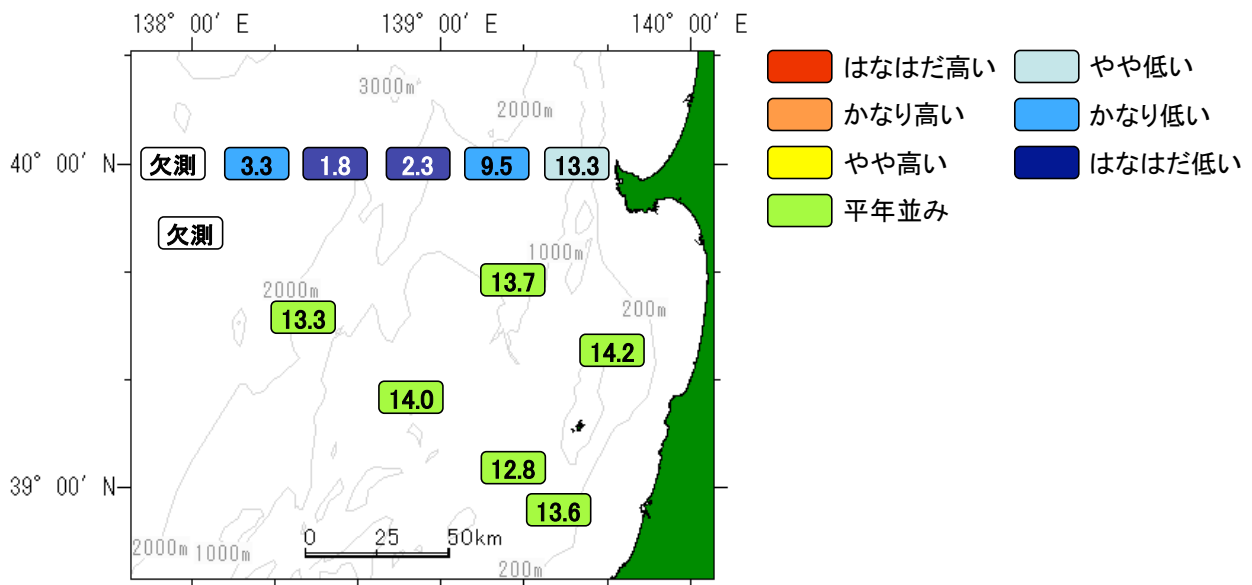


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

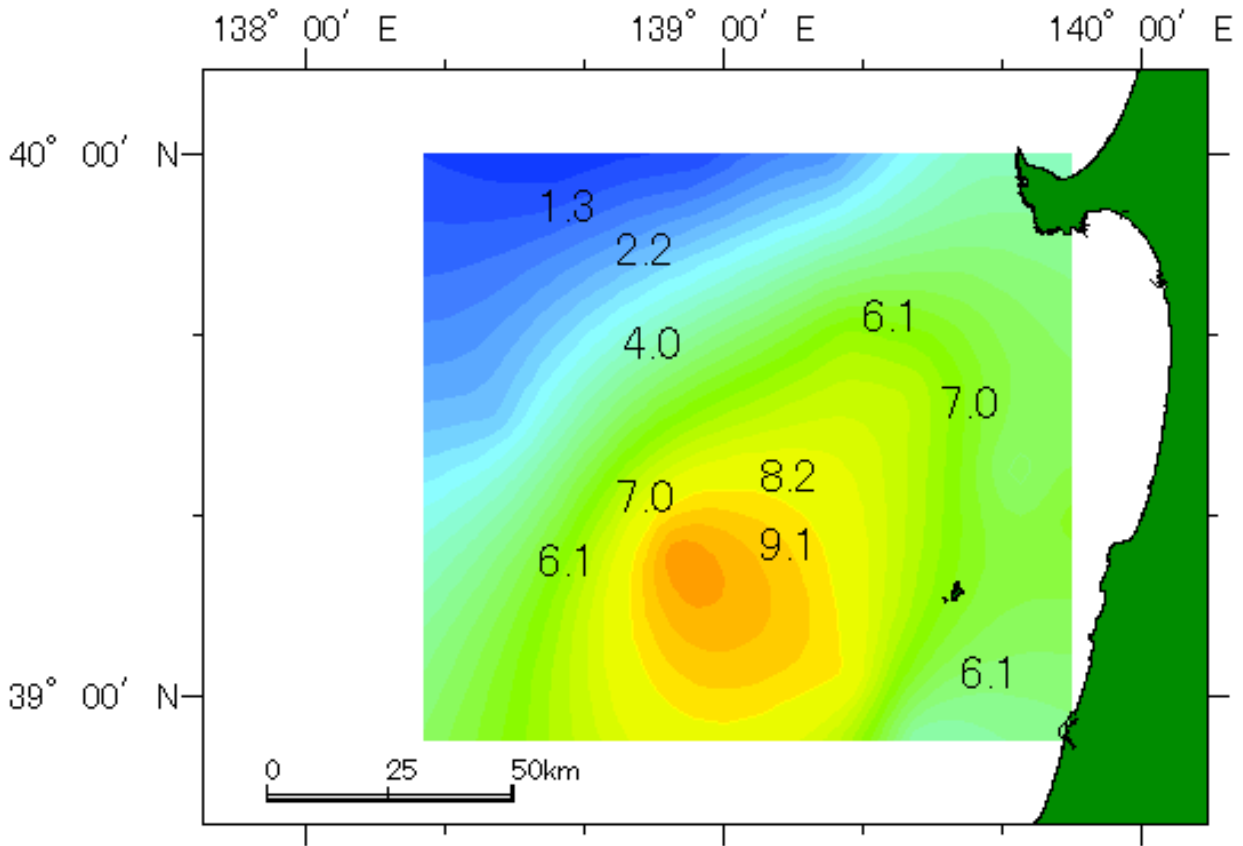


図8 水深200m層の水温分布

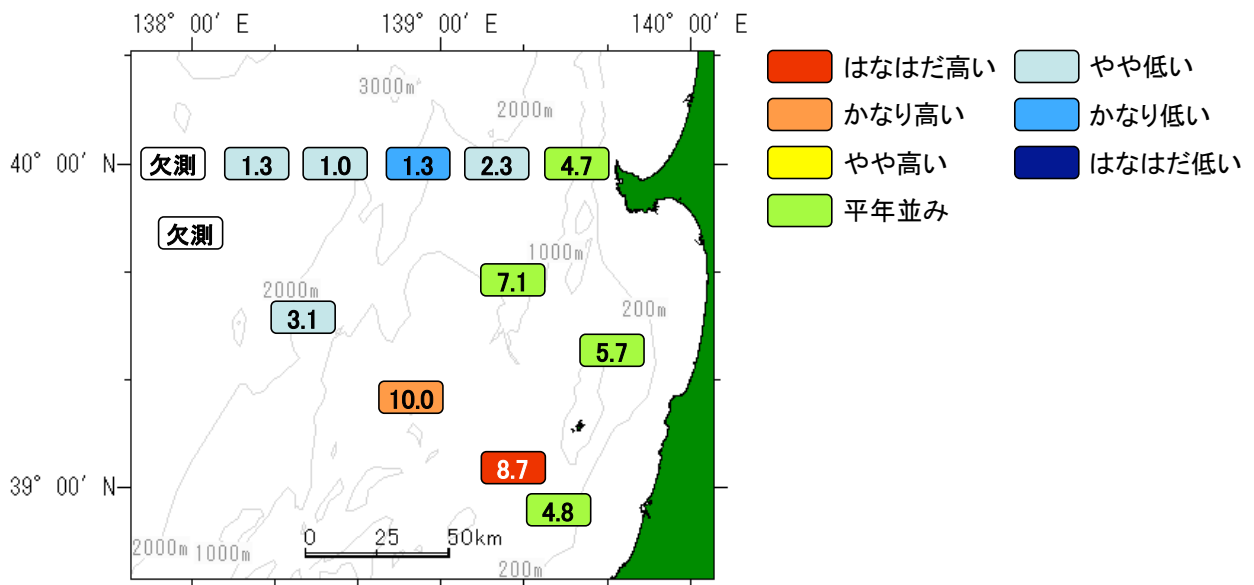


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

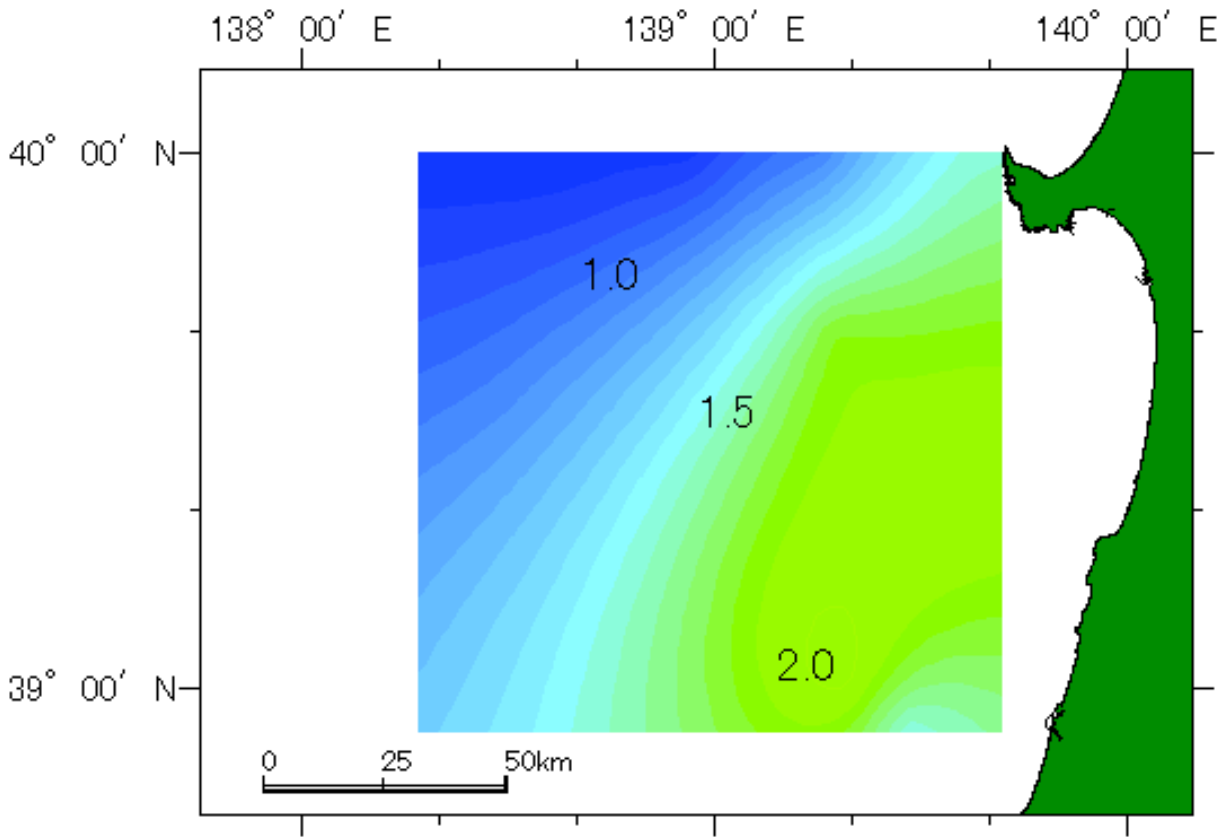


図10 水深300m層の水温分布

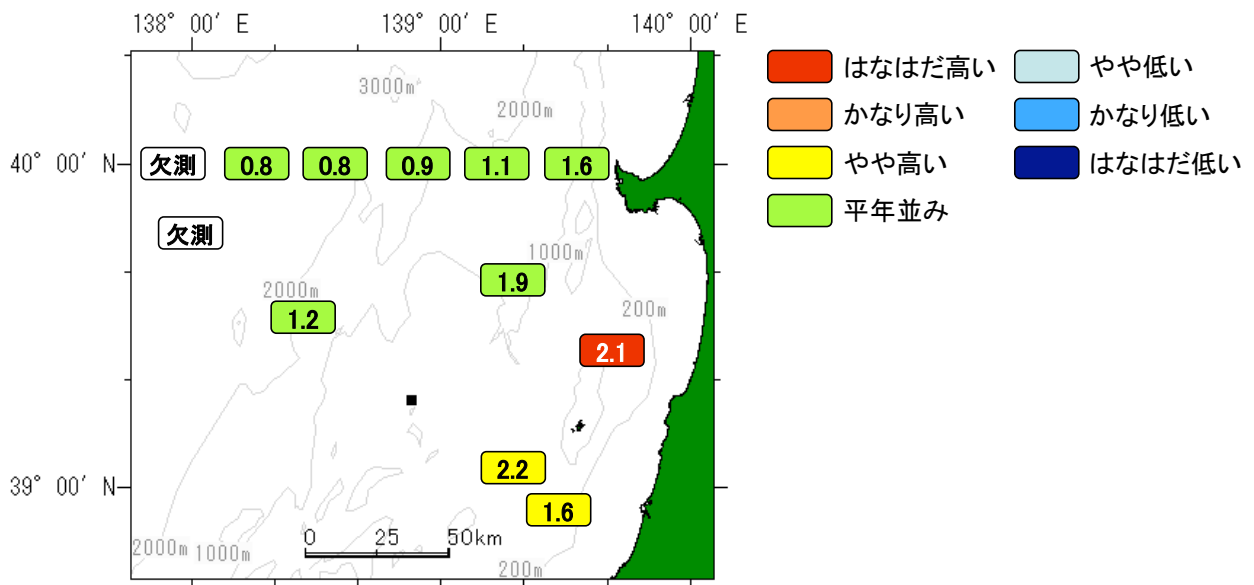


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成25年11月)

漁業調査指導船「千秋丸」により10月29～30日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層(2ページ) おおむね「かなり高い」～「はなはだ高い」水温です。
- 50m層(3ページ) 男鹿半島西沖のSt. 4付近に、「はなはだ低い」水温の冷水域がみられます。
- 100m層(4ページ) 全体的に「やや低い」～「はなはだ低い」水温で、男鹿半島西沖(St. 3～4)～にかほ市沖(St. 8)にかけて、冷水域が張り出しています。
- 200m層(5ページ) 全体的に「やや低い」～「かなり低い」水温で、男鹿半島西沖(St. 2～5)～にかほ市沖(St. 8)にかけて、冷水域が張り出しています。
- 300m層(6ページ) 男鹿半島西沖のSt. 7で「はなはだ高い」水温となっていますが、その他は おおむね平年並みです。

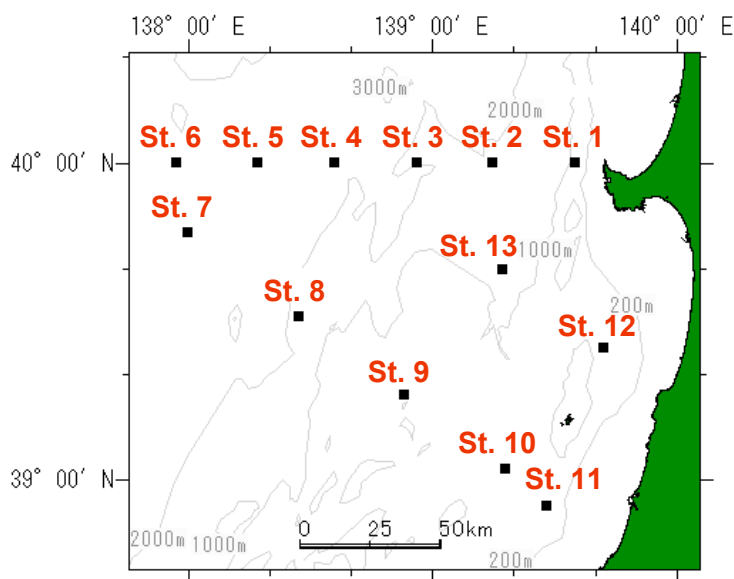


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)÷標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

< 表層 >

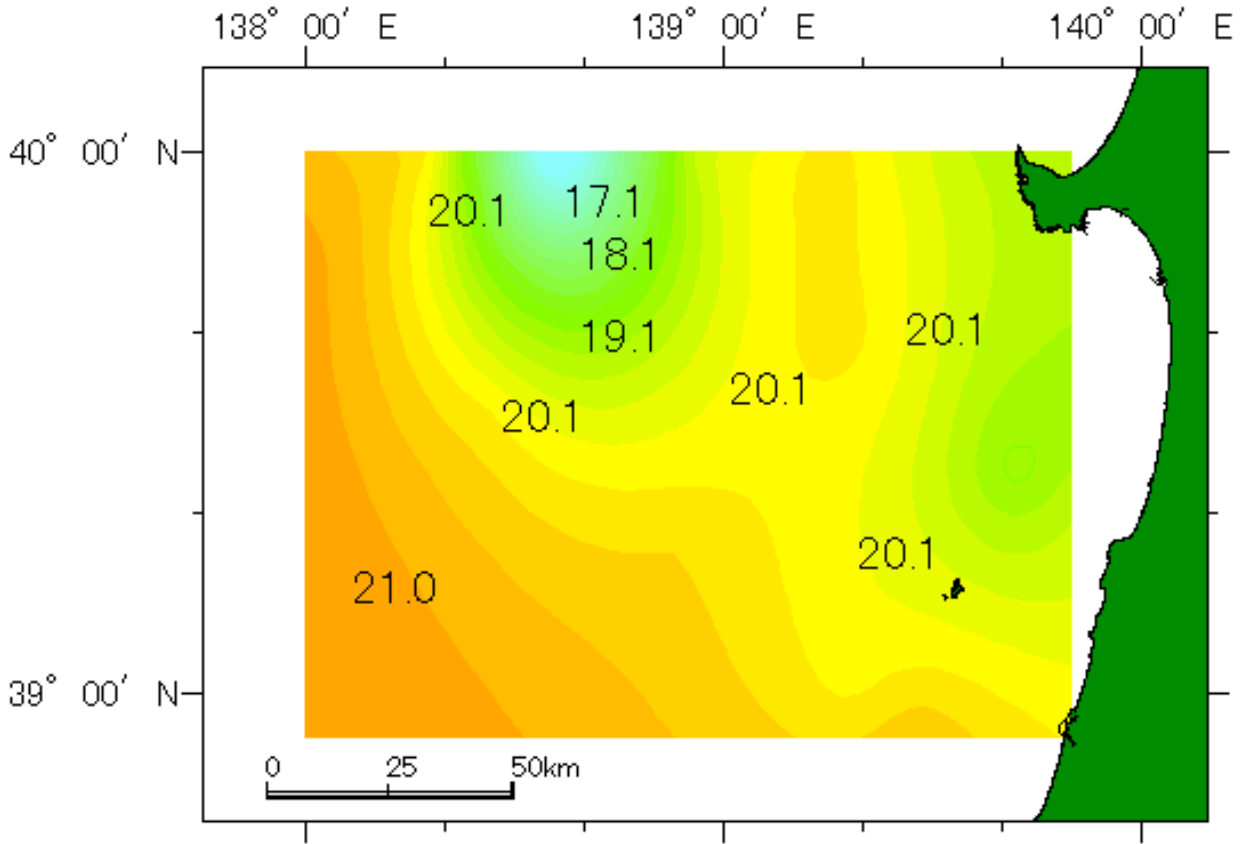


図2 表層の水温分布

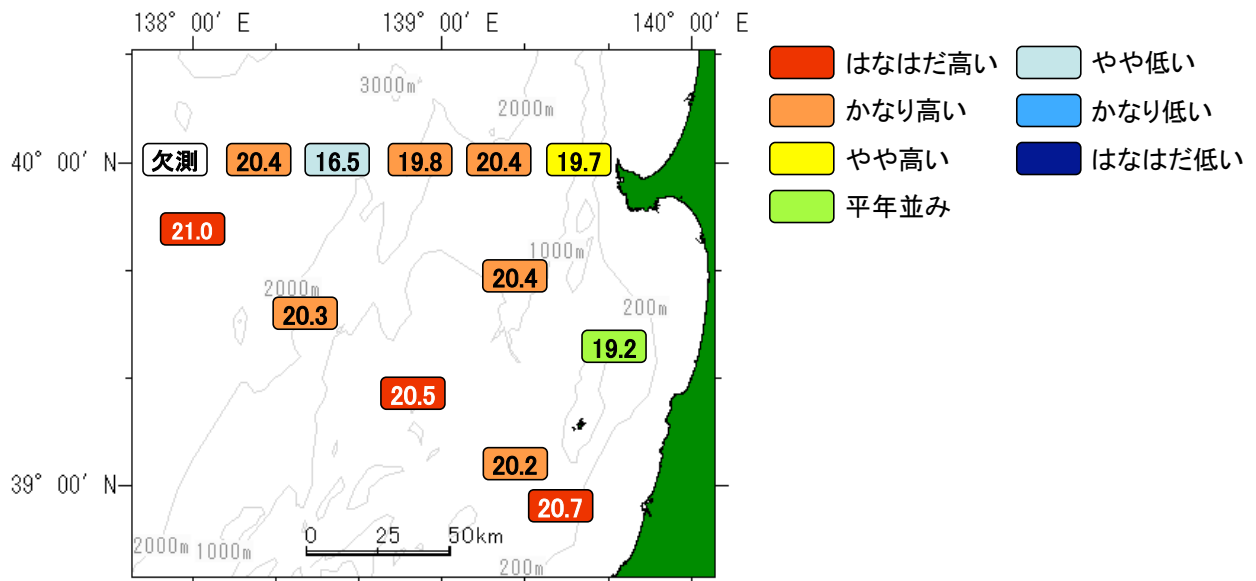


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

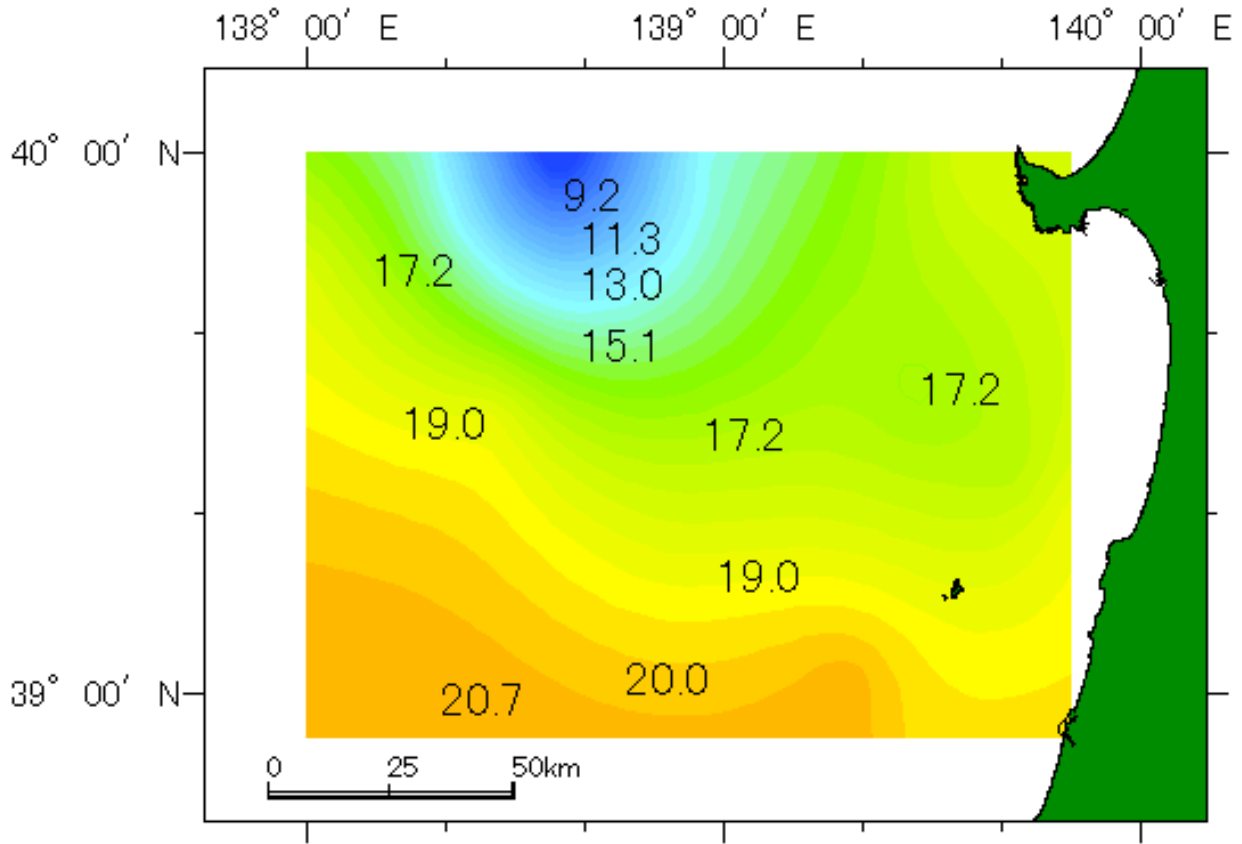


図4 水深50m層の水温分布

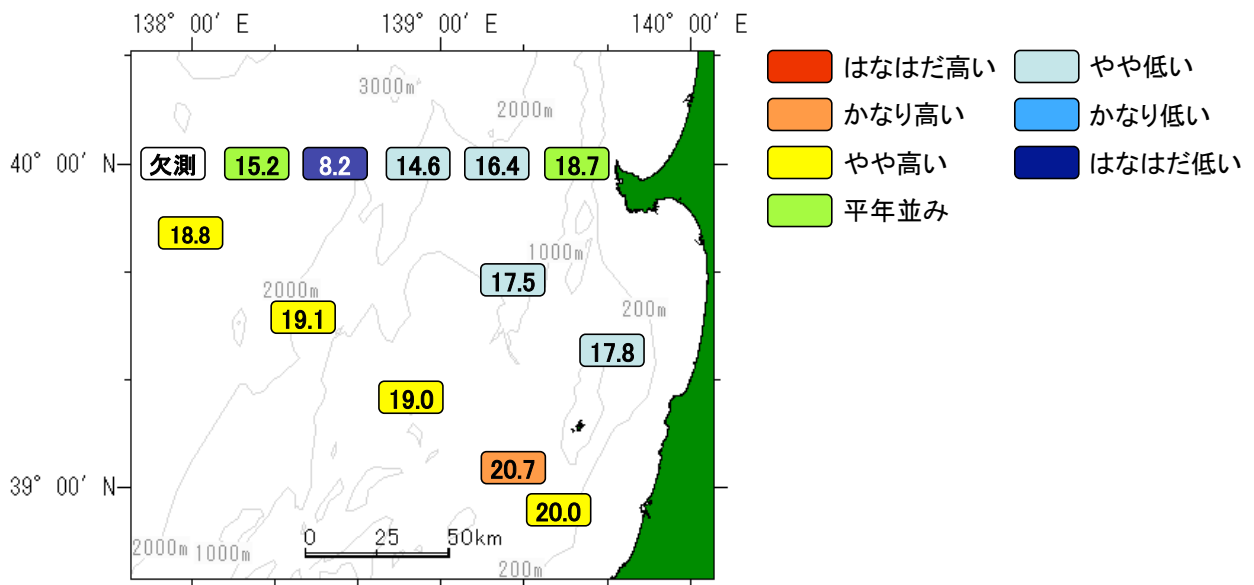


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

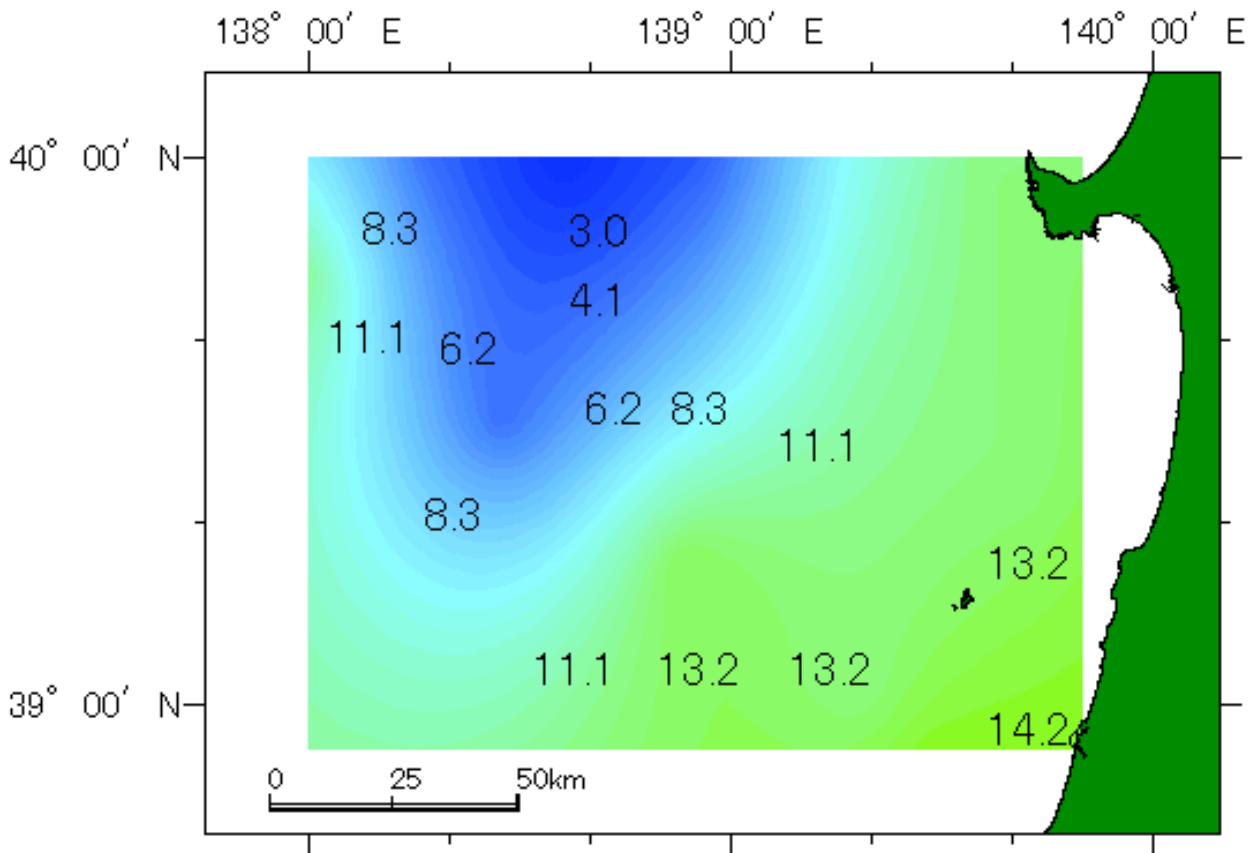


図6 水深100m層の水温分布

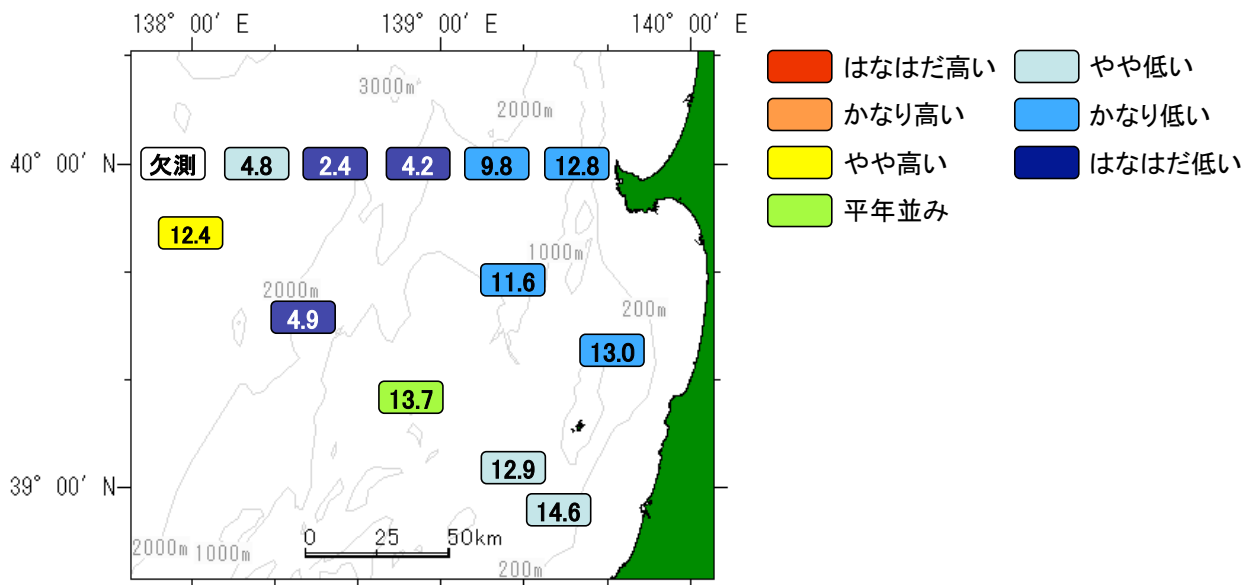


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

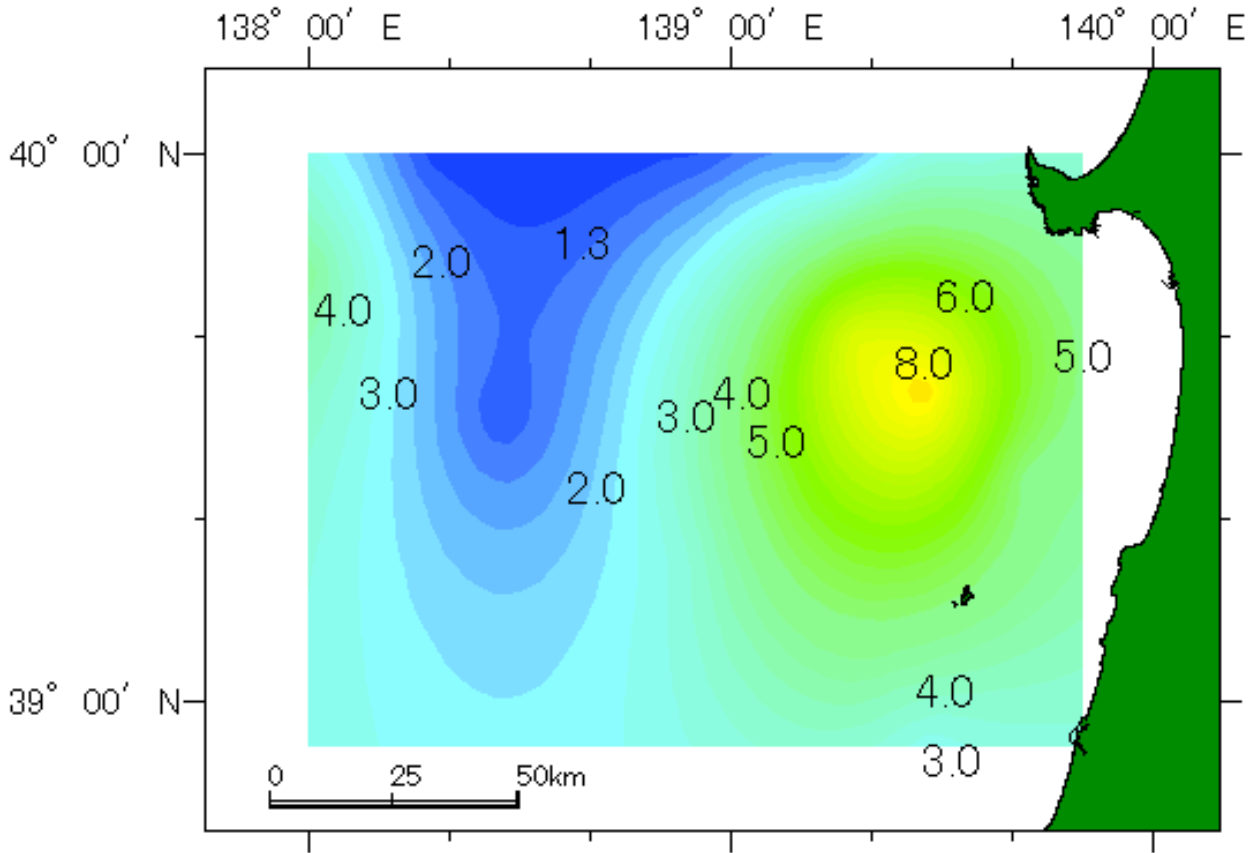


図8 水深200m層の水温分布

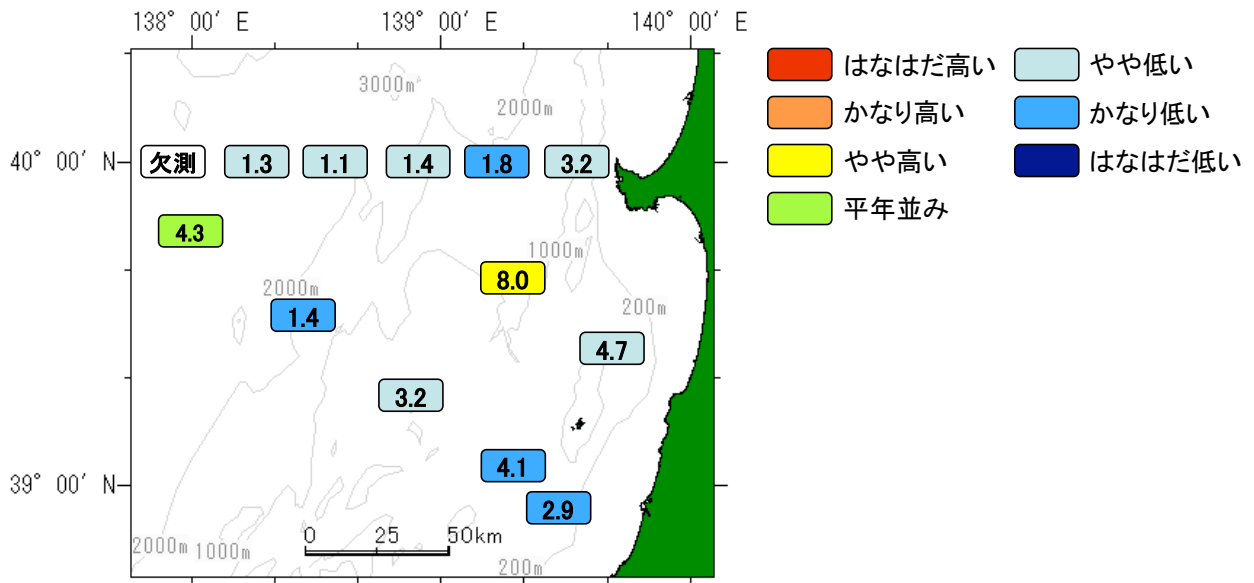


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

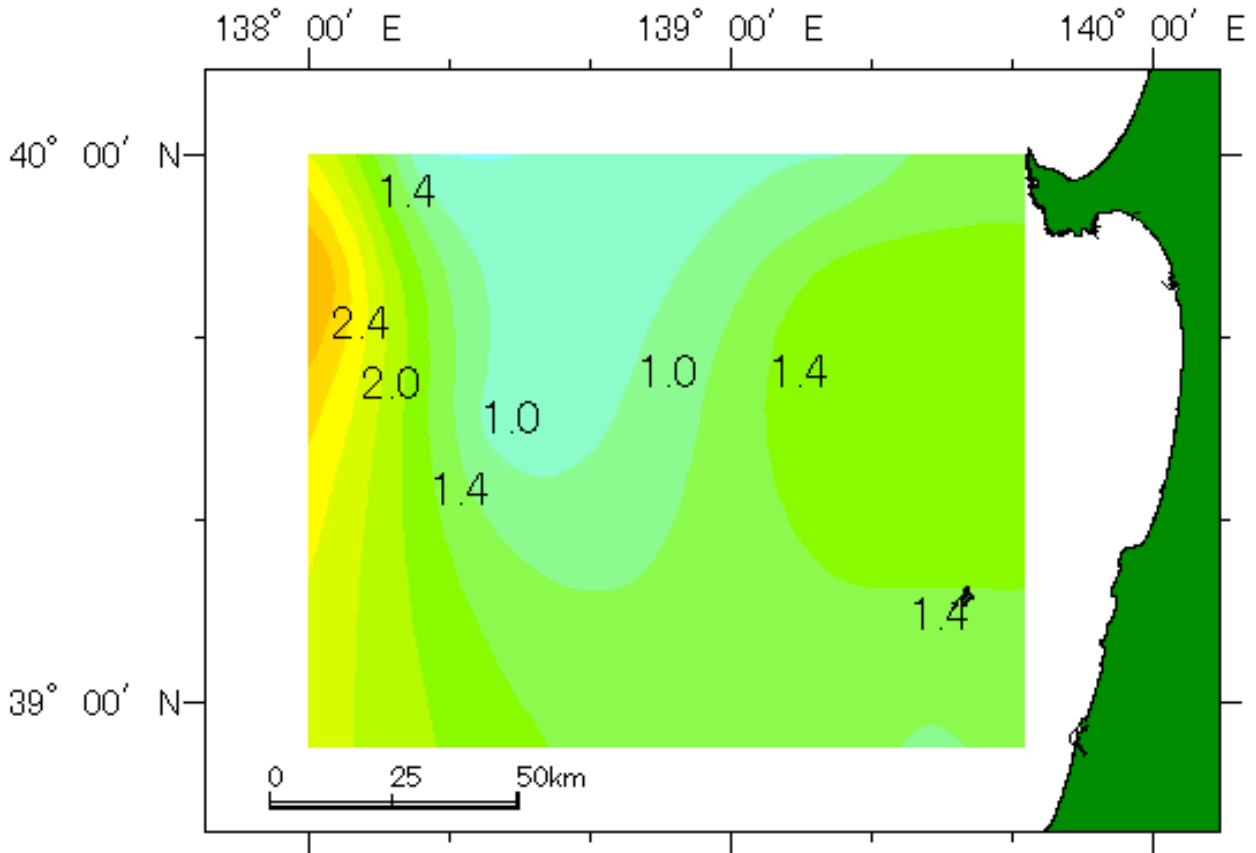


図10 水深300m層の水温分布

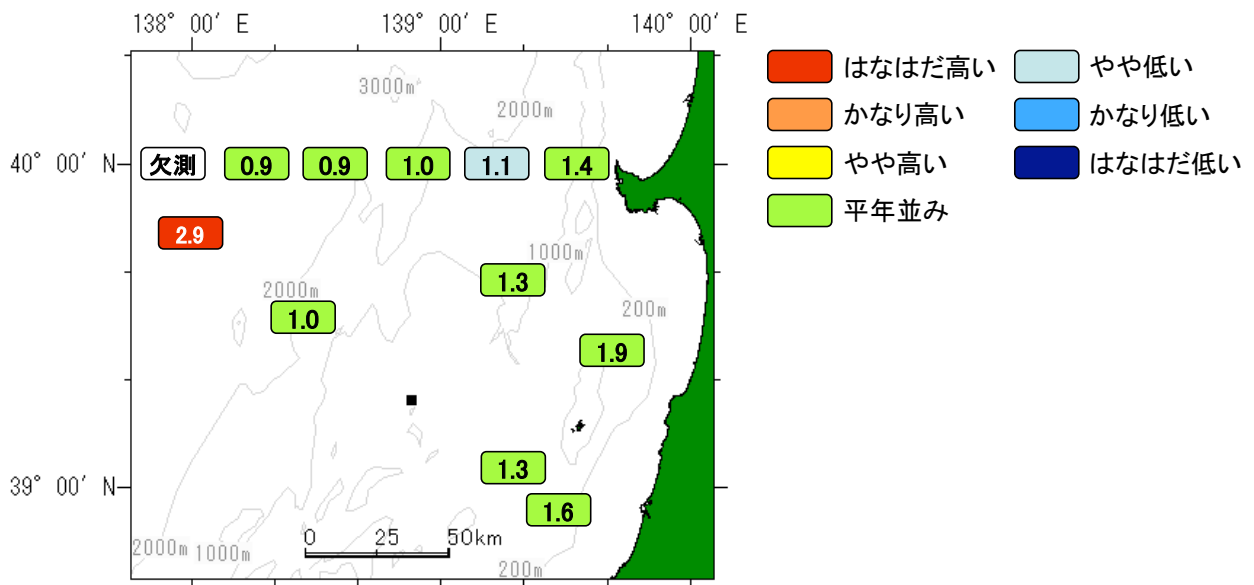


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成26年2月)

漁業調査指導船「千秋丸」により2月24～25日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層(2ページ) おおむね「やや低い」～「かなり低い」水温です。
- 50m層(3ページ) 酒田市沖(St. 11)で「はなはだ低い」水温です。
- 100m層(4ページ) 男鹿半島西沖(St. 1)で「はなはだ低い」水温です。また、秋田市沖～にかほ市沖(St. 12～13)では「かなり低い」水温です。
- 200m層(5ページ) 男鹿半島西沖(St. 1)と酒田市沖(St. 11)で、「はなはだ低い」水温です。
- 300m層(6ページ) 酒田市沖(St. 10)で、「かなり低い」水温です。

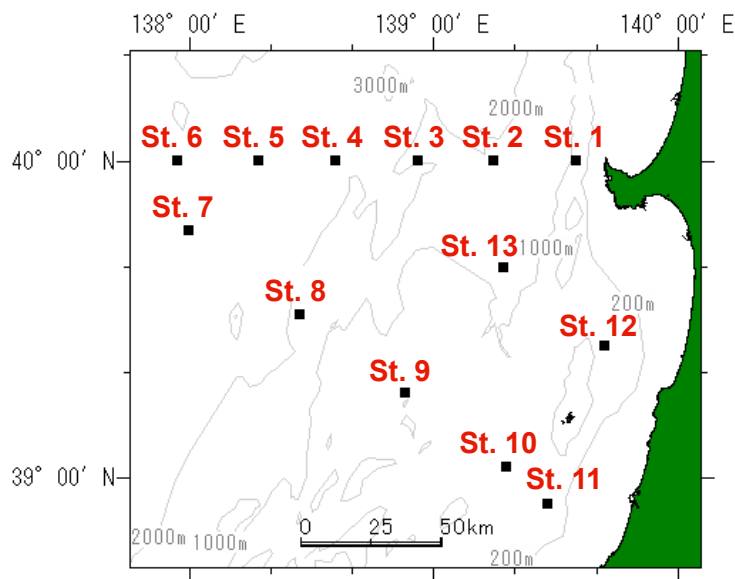


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

< 表層 >

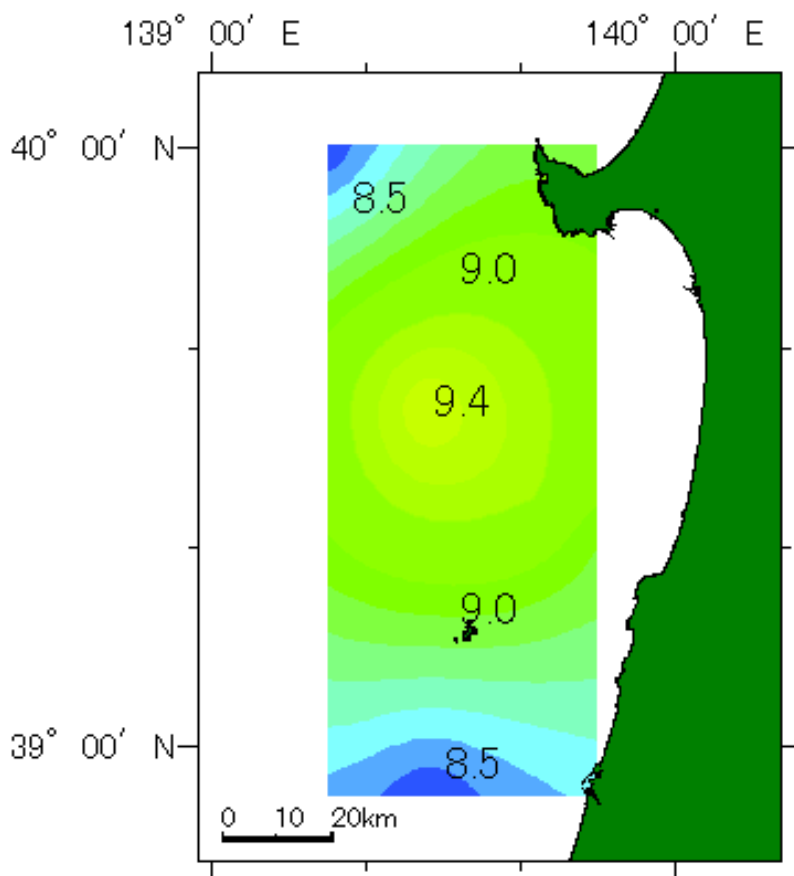


図2 表層の水温分布

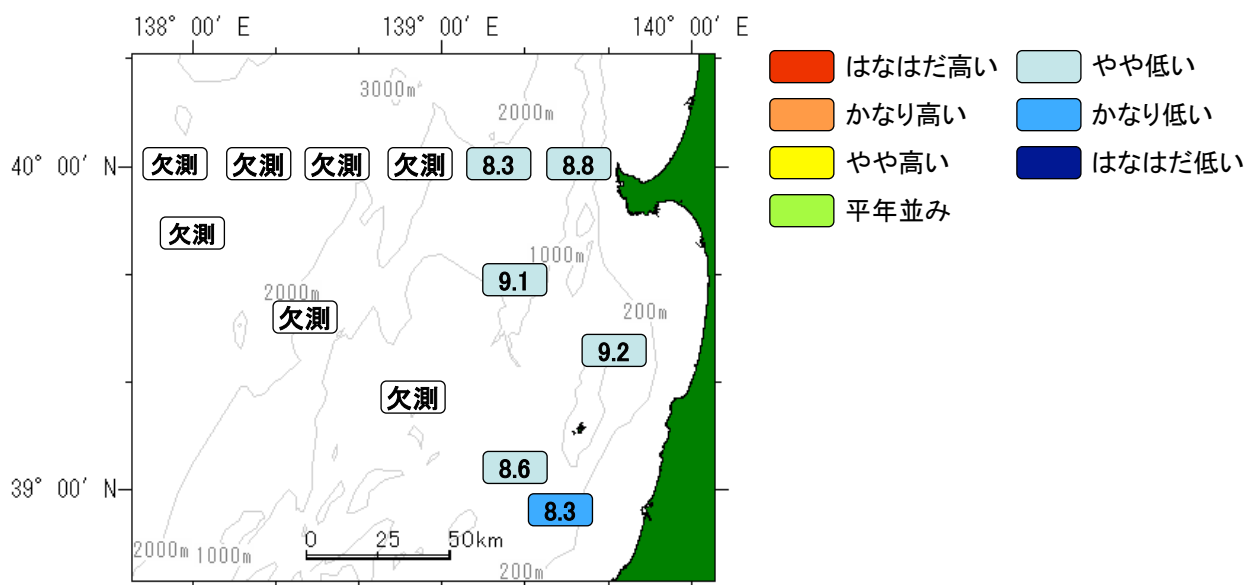


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

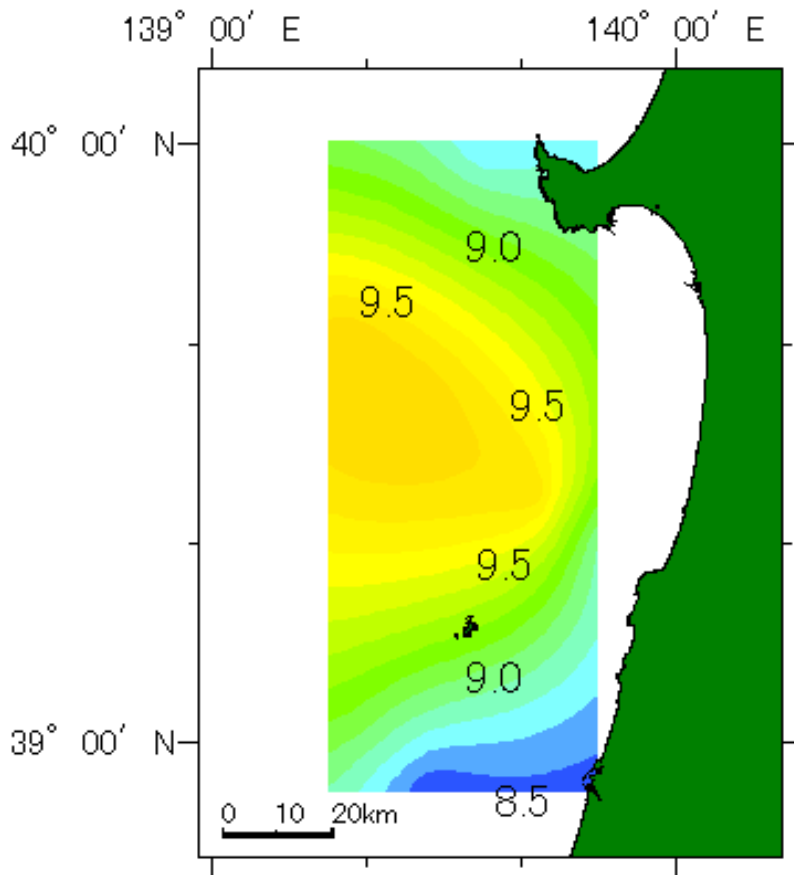


図4 水深50m層の水温分布

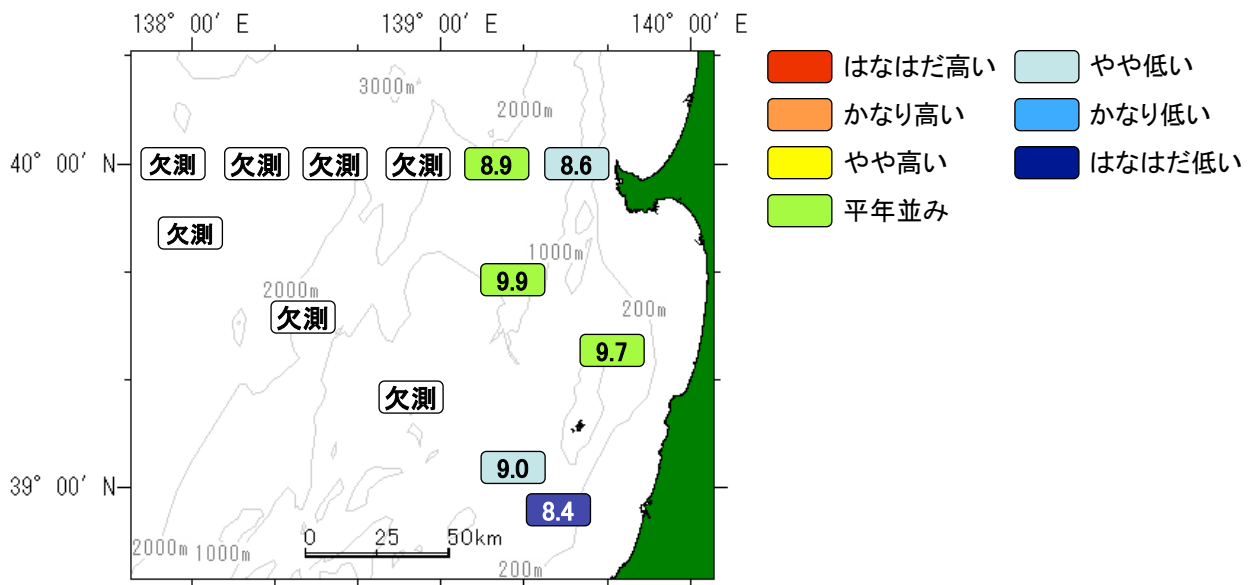


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

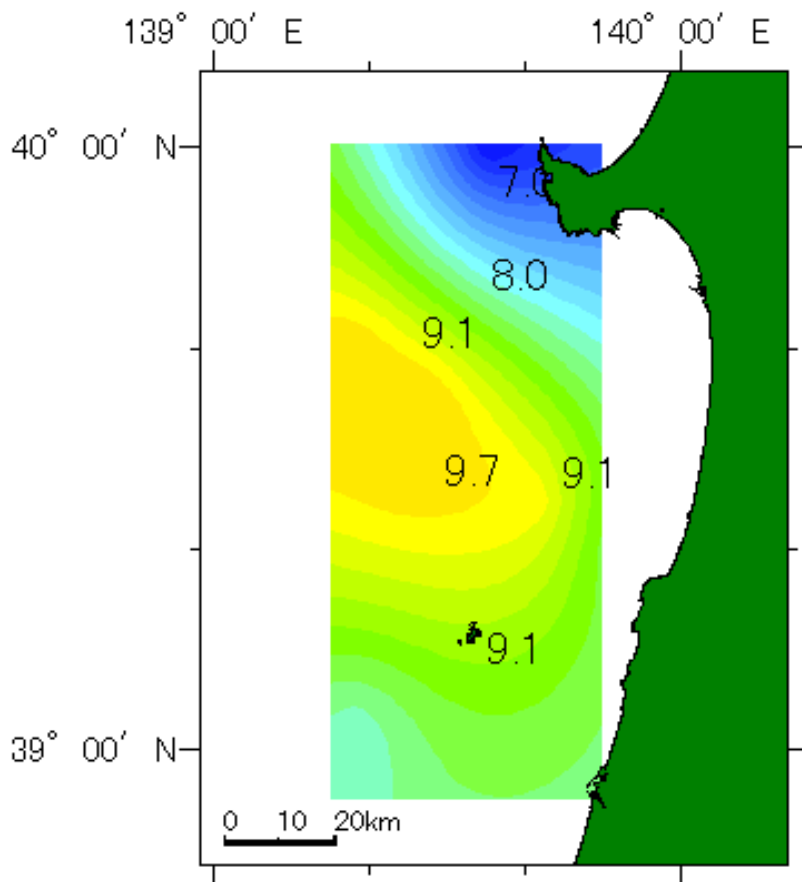


図6 水深100m層の水温分布

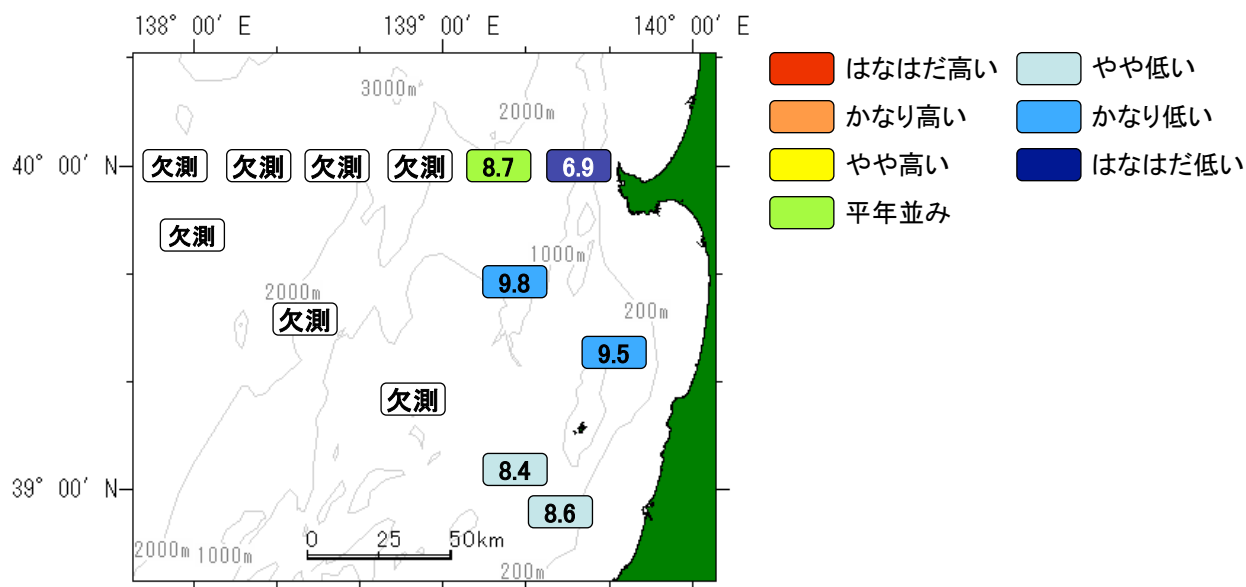


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

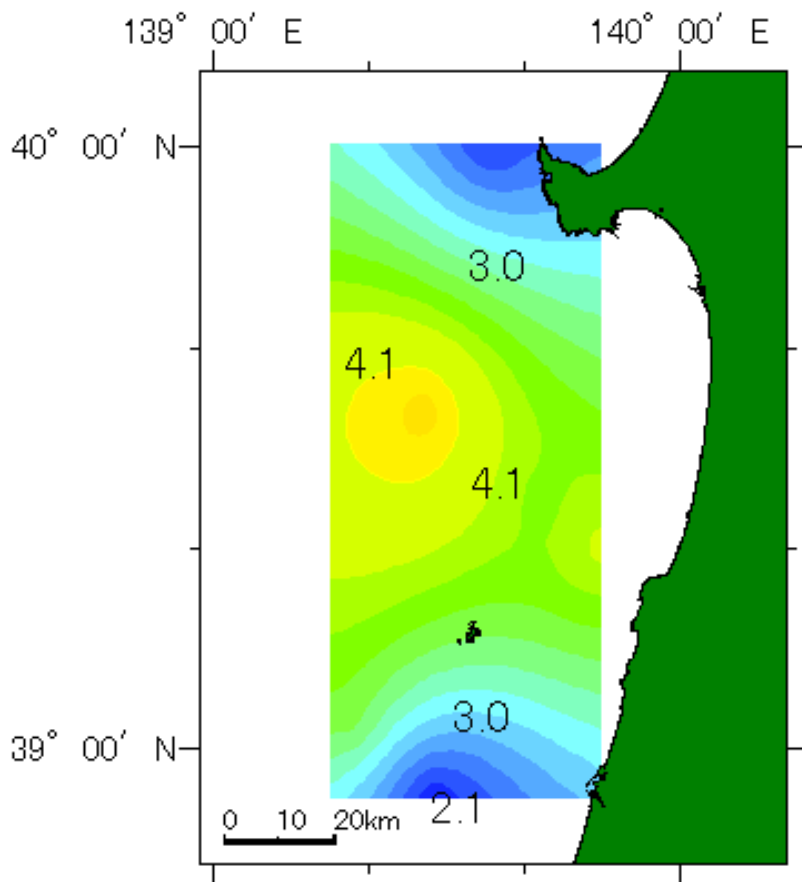


図8 水深200m層の水温分布

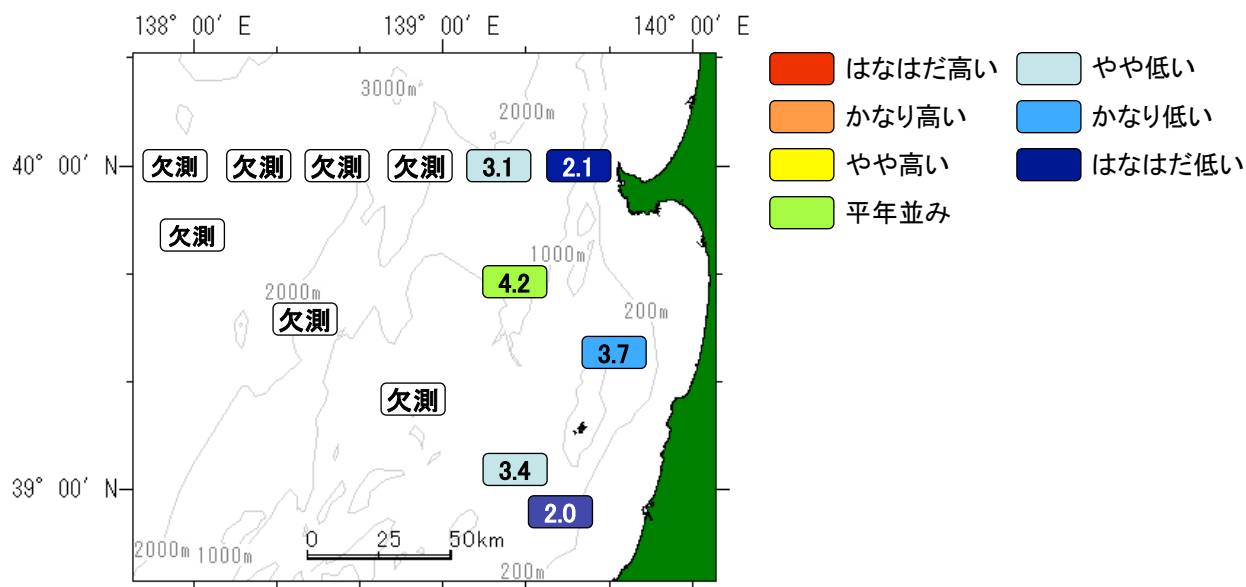


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

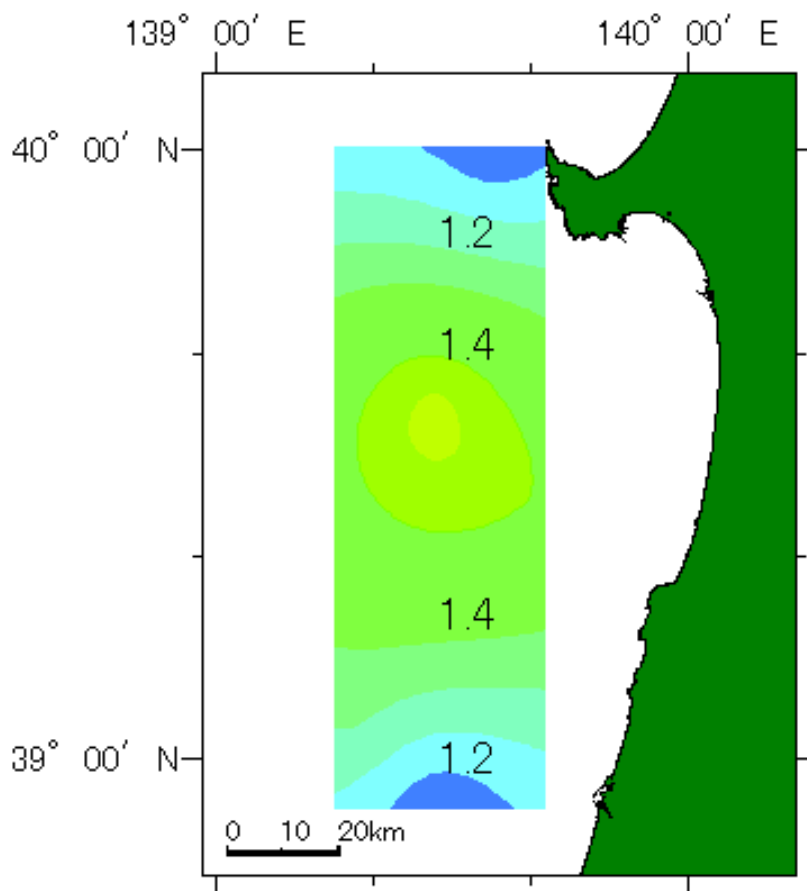


図10 水深300m層の水温分布

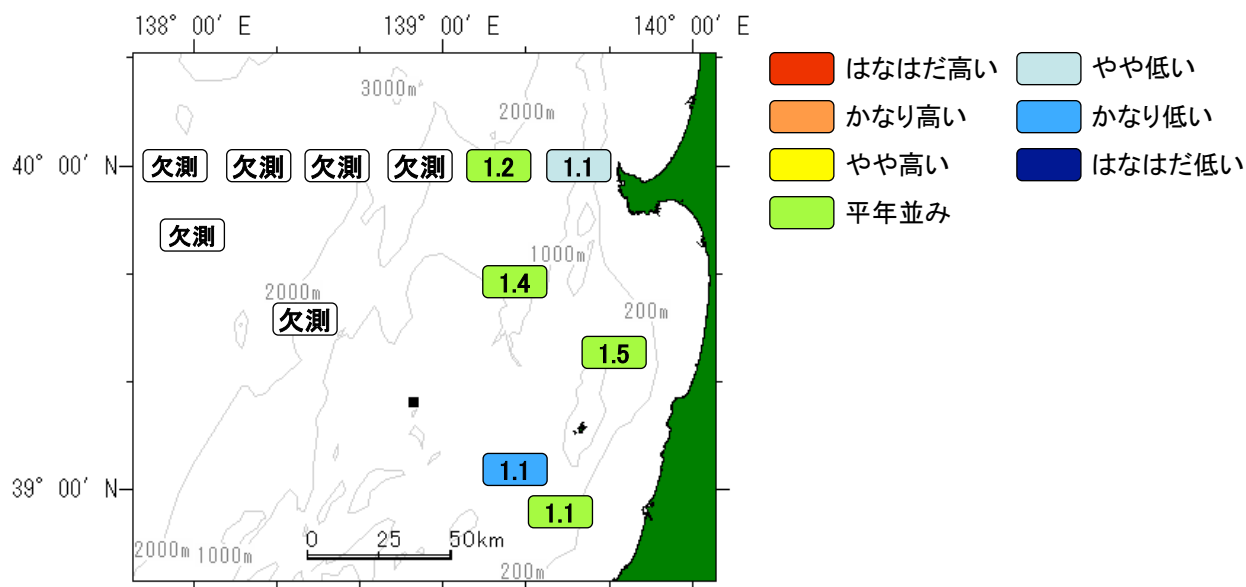


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)

秋田県沖合域の水温状況 (平成26年3月)

漁業調査指導船「千秋丸」により3月12～13日に行った観測によると、水温の状況は次のようになっています。

- 表層(2ページ) 「平年並み」～「やや低い」水温です。
- 50m層(3ページ) 「平年並み」～「やや低い」水温です。
- 100m層(4ページ) おおむね「平年並み」の水温です。
- 200m層(5ページ) おおむね「やや低い」水温です。
- 300m層(6ページ) 「平年並み」の水温です。

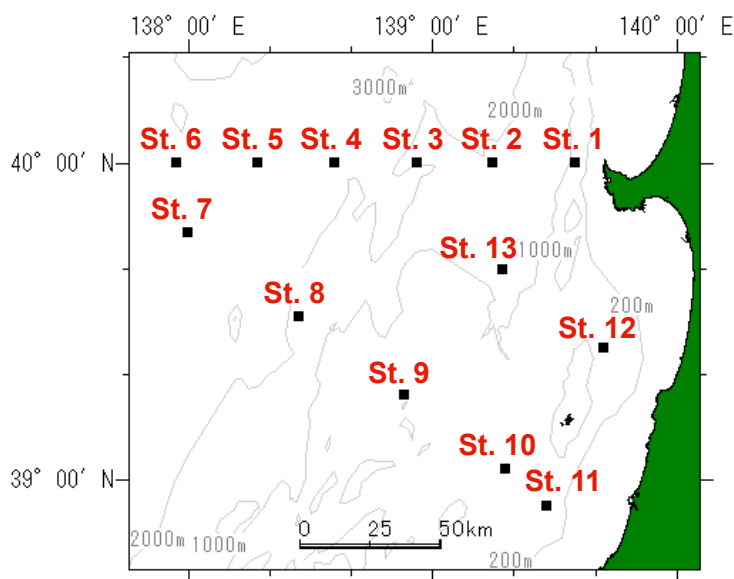


図1 調査船千秋丸による観測定点(St. 1～13)

表1 水温の評価方法

評価	偏差*	
■ はなはだ高い	+200以上	(出現確率:約20年以上に1回)
■ かなり高い	+131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ やや高い	+61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ 平年並み	±60以内	(出現確率:約2年に1回)
■ やや低い	-61～131	(出現確率:約4年に1回)
■ かなり低い	-131～200	(出現確率:約10年に1回)
■ はなはだ低い	-200以下	(出現確率:約20年以上に1回)

* 偏差=(今月の観測値-平年値)/標準偏差×100
平年値:1971～2000年までの平均値

<表層>

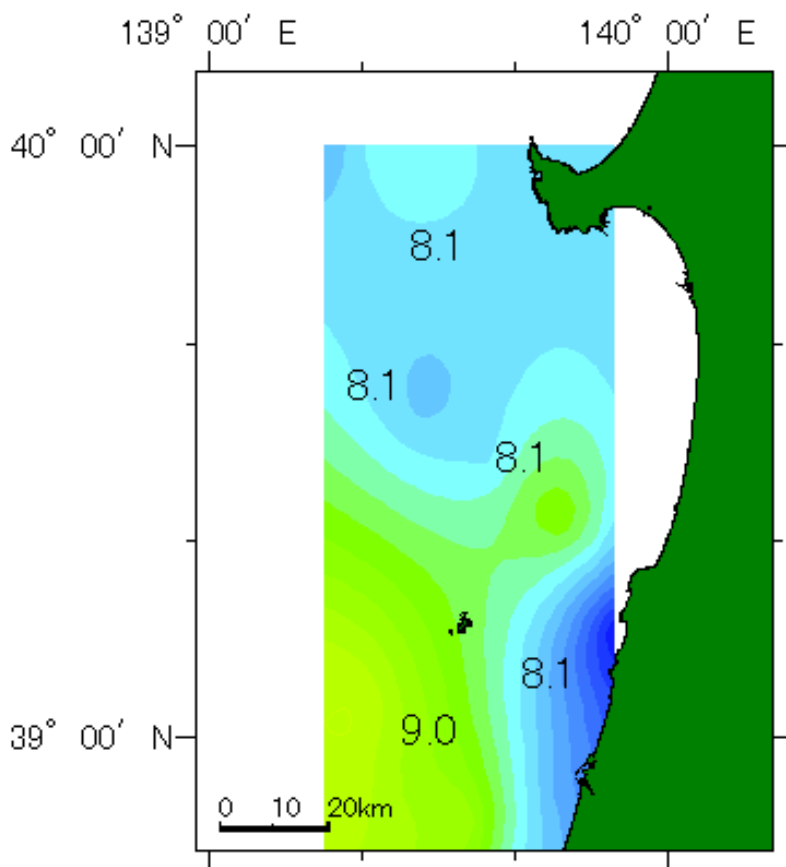


図2 表層の水温分布

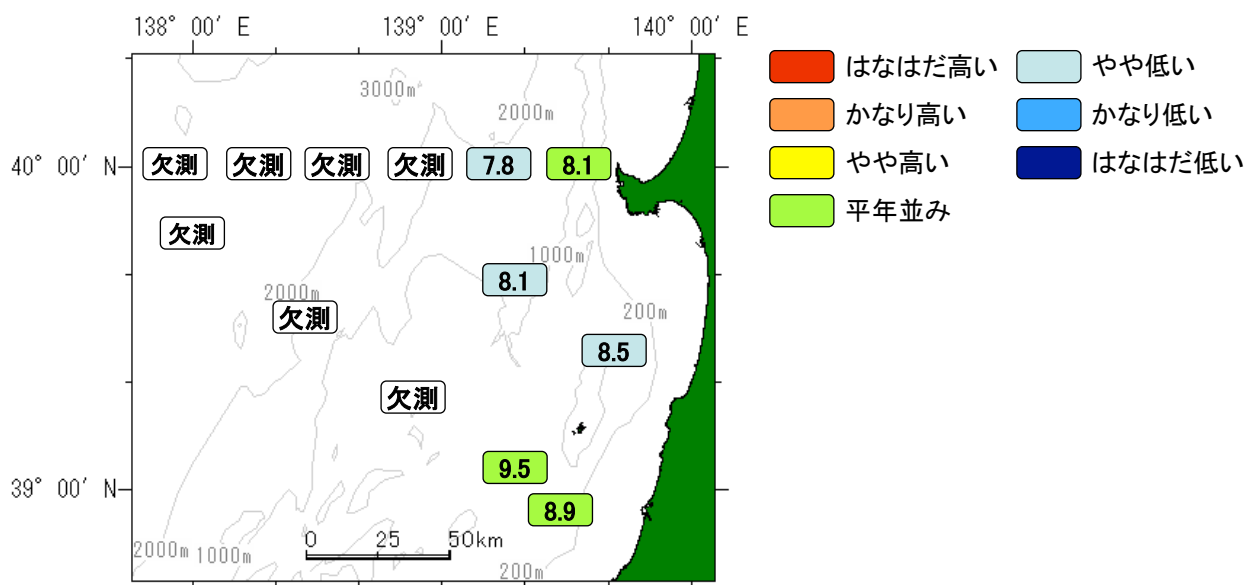


図3 表層における水温の評価と観測値(°C)

<50m層>

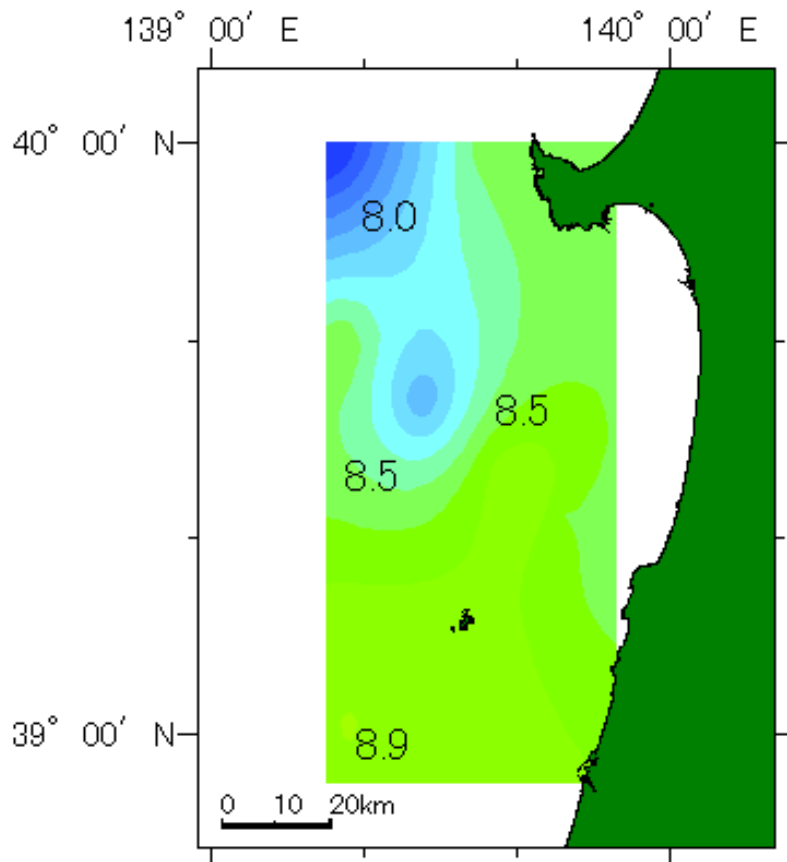


図4 水深50m層の水温分布

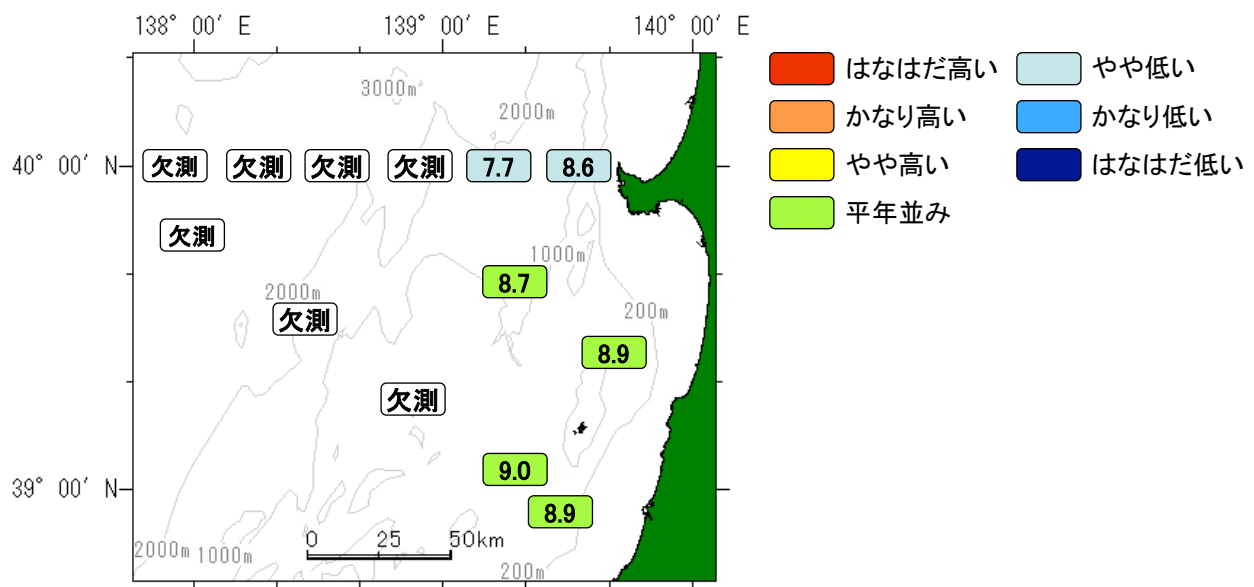


図5 水深50m層における水温の評価と観測値(°C)

<100m層>

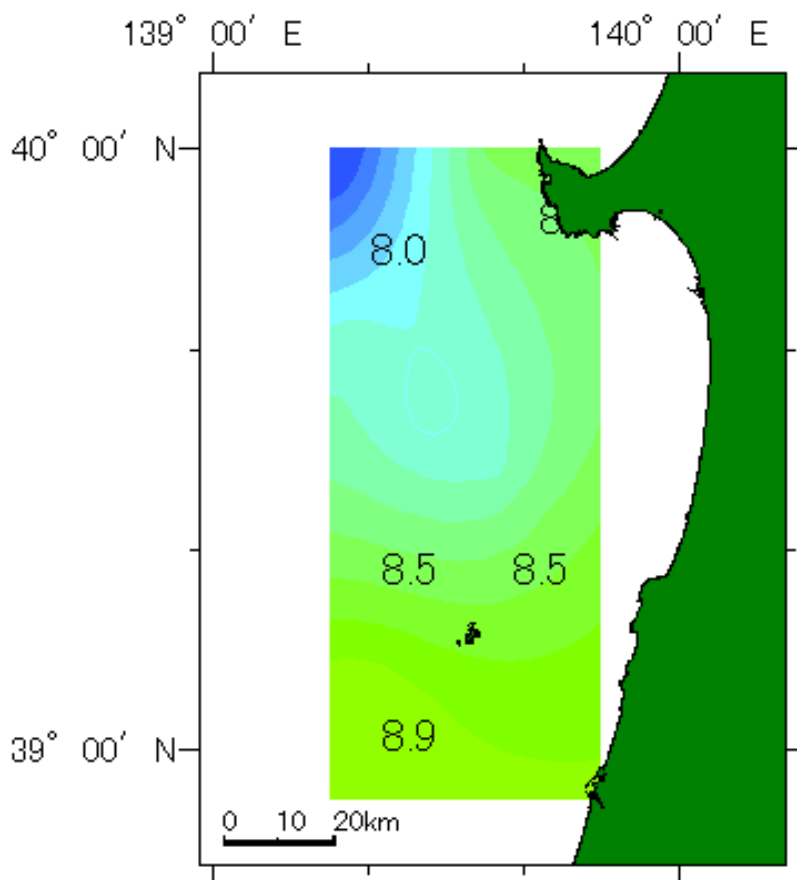


図6 水深100m層の水温分布

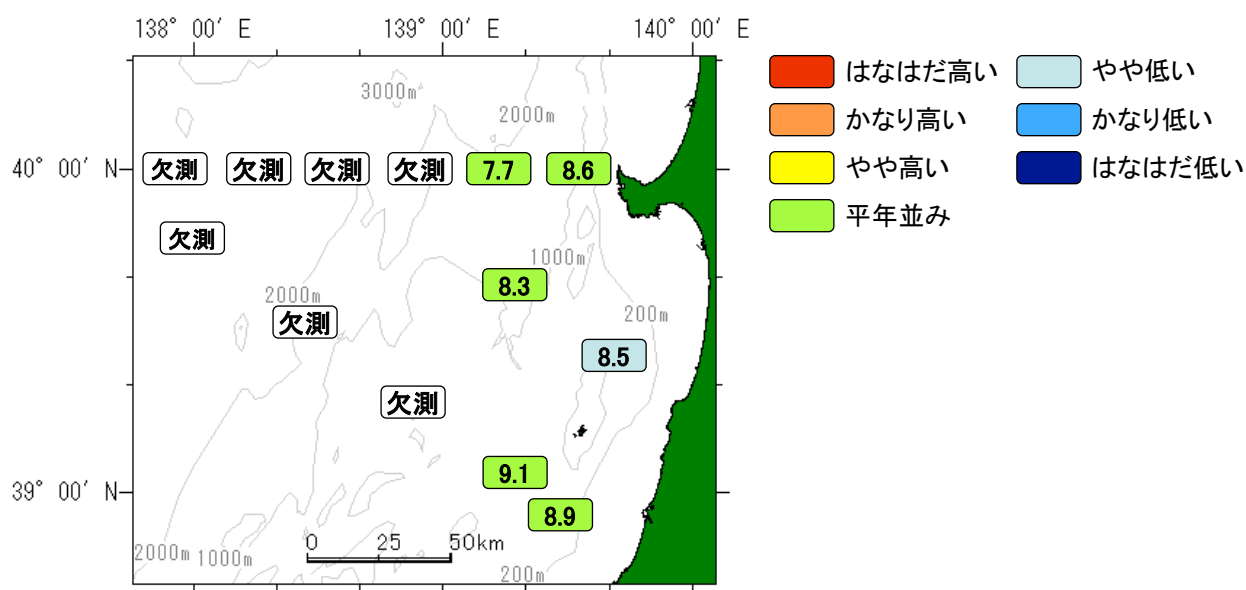


図7 水深100m層における水温の評価と観測値(°C)

<200m層>

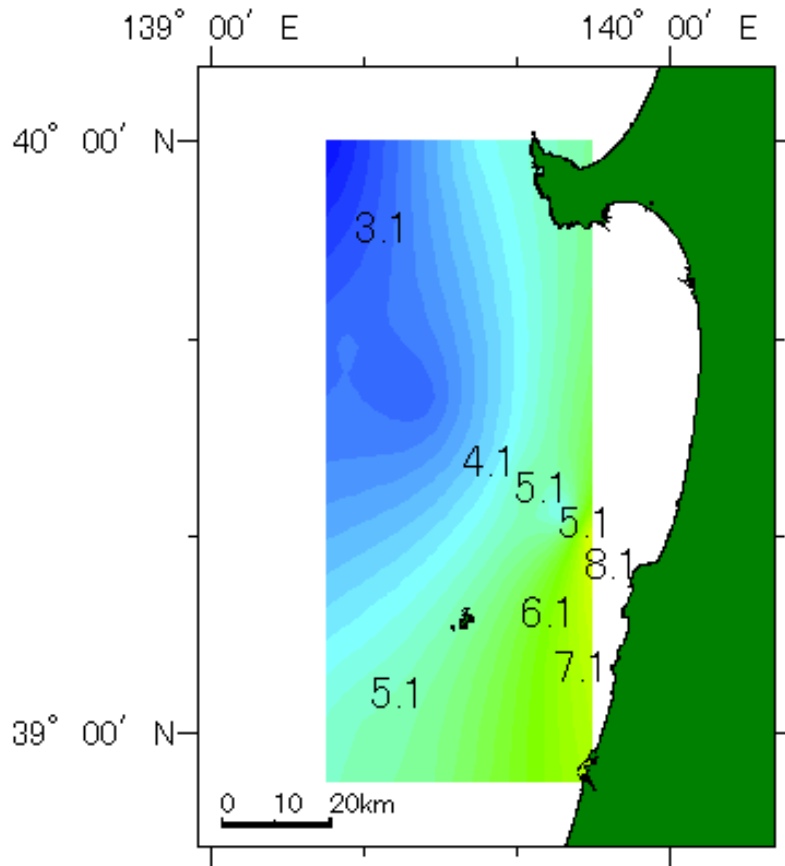


図8 水深200m層の水温分布

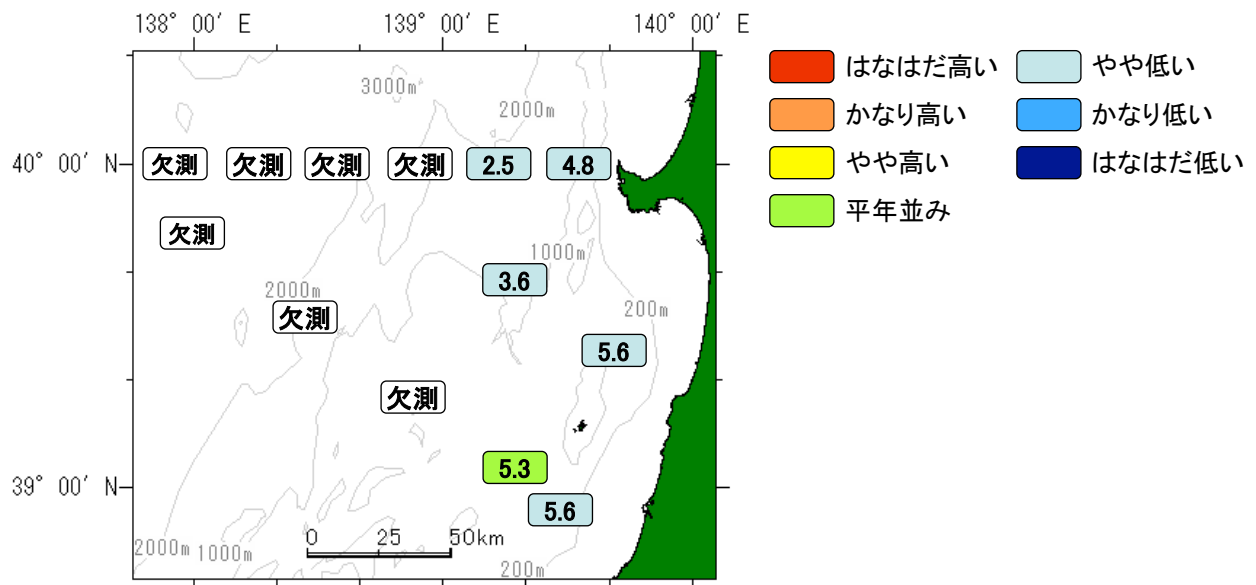


図9 水深200m層における水温の評価と観測値(°C)

<300m層>

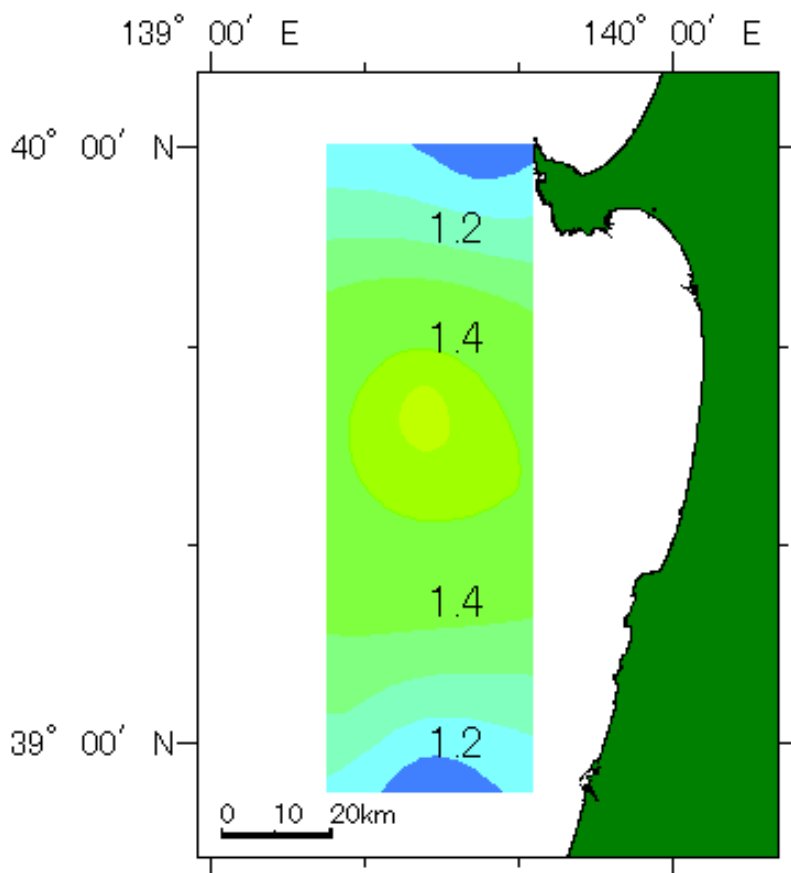


図10 水深300m層の水温分布

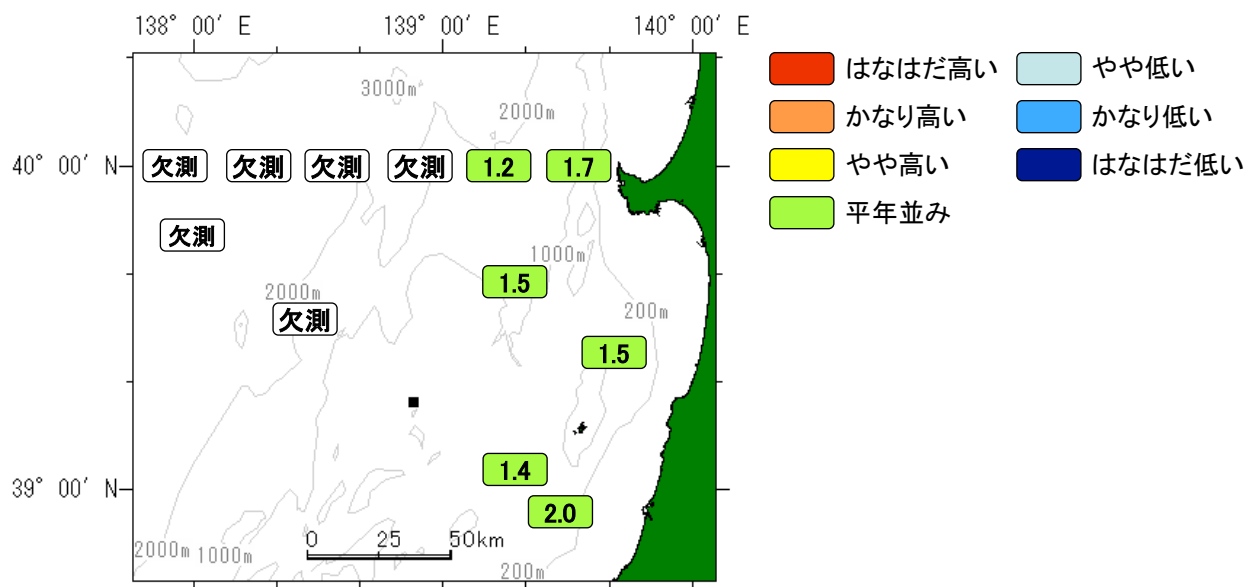


図11 水深300m層における水温の評価と観測値(°C)